



Le
Coeur



も く じ

グラビア.....	2
特集その1 ファッション.....	4
生徒会報告.....	8
クラス紹介.....	11
クラブ紹介.....	14
特集その2 クラブ.....	23
学校長のおはなし.....	26
特集その3 H・R.....	28
特集その4 先生.....	31
特集その5 生徒会.....	37
寄稿.....	41
行事 生徒総会.....	48
体育祭.....	49
文化祭.....	52
球技大会.....	54
寄稿.....	56
グラビア.....	58
編集後記.....	59

流 光

若いんだ
みんな若いんだ
可能性だってばっちりあるんだ
いい事じゃあないか
幸福じゃあないか
純粋が単純に置き換えられても
若いのが
いいじゃあないか
みんなで何かをやるんだ
若者は普遍的共感をつくるのさ
だから大声を出して叫ぶんだ
ごまかさず
自分の持っているその力を出すのさ
もったいなんで百わないでくれ
自分のために使うんだ
友だちのために使うんだ
いいじゃあないか
いい事じゃあないか
若いんだ
みんな若いんだ
可能性だってばっちりあるんだ!!



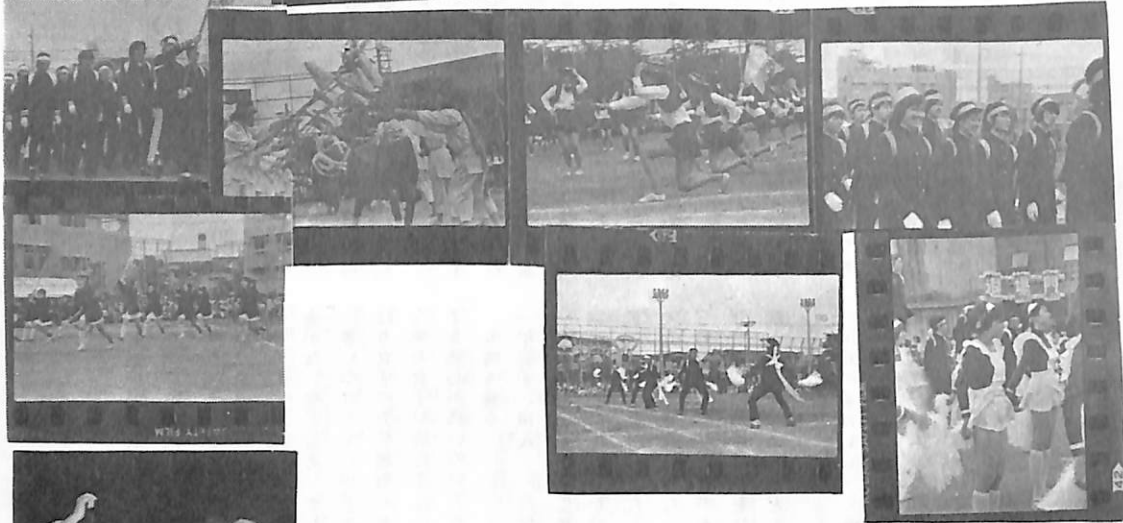
表紙

丘と谷間の月

左手に表紙の左端を、
右手に裏表紙の右端を持ち
パット開いてみましょう。
丘と谷間に浮かぶ月に見えるでしょう。
見えなかつたら……

PICTURE

体 育 祭



文 化 祭



修 学 旅 行



特集その1

松原フアッション調査の結果

ル・クール特捜班

我ら樓空樓では、今回一・二年生全員に対して主に衣服に対する考え方の調査をしました。まずは最初に固く一言。

フアッション＝日本語では流行などと訳するのだから、それは単に服装、おしゃれだけではなく広くその時々におけるその社会、地域、世界における風潮、できごとや人々の考え方や価値感などをいうのではないだろうか。であるからフアッションのものを意味をその人々の年齢、属する環境などで違ってくるであろう。

また今日では衣服の流行は、もとより物の考え方などに対しても上の方(企業・政治家など)が押しつけようとしているみたいだ。企業などは製品を売らんが為に、小手先のモデルチェンジを繰返したり、毎年新しいフアッション作り流行させようとさかんに宣伝している。まったく無駄の多い世の中である。(1)学校に学生服を着て来るか

このアンケートの結果統一の必要がないという人が圧倒的に多いのだが一年の男子などで回答者の三分の一が統一に賛成している。これはかなりの数で、統一の必要ありと答えた人は現在の松高の生徒がバラバラでまとまりがなく、自分本位の行動や考え方などに対する不満もふくまれているのではないだろうか。また、統一賛成者は、学生服は清潔と答え、反対者は、不潔だと考えている。この結果から学生服は見る人によって清潔に見えたり、不潔に見えたりするらしい。本当の所は、学生服は、見た目は綺麗でもあまり洗濯しない(問5の結果平均一〜二回多くて四、五回でした。)ので実際は、よごれているといった所ではないだろうか。そして経済的な面でも生服は一着でまにあうから経済的と私服は学校以外の外出着、普段着として使用できるの経済的という二つの考え方があつた。

(3)学生服の良い点、悪い点

良い点は学生らしい。まじめに見える。清潔感がある。着る物を考える必要がないしどこでも着ていけるので面倒がなく便利、お金がかからないなど合理性を主張するものやよごせるや、よごれがめだたないなど悪い点の答につながるものもあつた。

a 毎日着て来る

一年男子 15人 二年男子 20人
一年女子 11人 二年女子 4人

理由は一番多いのが着替を選ぶ面倒さがない。学生らしい。他には、着るのが他にない。お金がないなどでありました。

多いのは二年の男子次いで一年の男子であり女子の方が制服を着たがらないらしい。今年の女子が特に少ないのは、おしゃれにする感が高いのだろうか。

b 時々着る

一年男子 14人 二年男子 11人
一年女子 38人 二年女子 8人

朝ねぼうした時や何を着ようかと考えるのが面倒な時またなんとなく学生服の臭いが恋しくなるからやなんとなく着てみたくなる。などの制服への愛着感のある人や学生らしく清潔であるやたまに気をひきしめるため私服が統かなくなつた時など人それぞれの理由があつた。

d 全く着ない

一年男子 17人 二年男子 22人
一年女子 56人 二年女子 53人

圧倒的に多いののもつていないと小さくなくなつて、あるいは古くなって着れないというもの

悪い点、まず第一に不潔である。が多かつた中にはこのような答もあつた。(原文のまま)「ぼくの知っている友人に「中略」そいつは大豆のくさつたような臭いのブンブンする学生服を気持ちよさそうに着こなしています。」というような人もいます。生服の人は注意しましょう。他にも学生服は、制服つまり強制服につながり、これは日本をファシズムにもつて行く第一手段にもつながり、これは、日本民主主義の危機にもつながる。それに制服は囚人服、軍隊を思いだして、よくない。と深く考える人。抑圧心↓庄迫感↓反抗精神↓不良化という倫を転回する人もあつた。

(4)私服の良い点、悪い点

良い点は、まず最初に日本の経済をも含む広い展望を持った人の意見をのせよう。学生服では、明らかに洋服の需要を抑制してしまふ(一人一着が標準なので)のに対し私服の場合、生徒はフアッションに気をつかい、そのため繊維業界の不況に刺激をあたえ、日本経済の安定にもつながる。」なんと読みの深いことか……。

さて他には、「私服はバーゲンセールがあるが、学生服のバーゲンがあるか?ないだろうつまり安くつく。」という生活に結びついた。

が多くその他は、うごきにくい、不潔、制服が嫌いなどであつて(1)のアンケートの結果aと答た人にくらべbと答た人が圧倒的に多く本校の自由な風潮は制服にもあらわれているようである。

(2)本校も学生服に統一した方が良いか。

a 良い一年男子 14人 二年男子 7人
一年女子 19人 二年女子 21人
b 悪い一年男子 28人 二年男子 37人
一年女子 70人 二年女子 39人

aと答えた人は統制がとれる。学生らしい。清潔である。服を選ぶ面倒さがない。正しい学校に見える。どろぼうが入つて来てもわかる。お金がかからない。

bと答た人は統一する必要がない。統制、強制されるのがいやだ。都立校の自由な雰囲気や失う。個性がなくなる。学生服は、高いので枚数を多く持っていないので毎日毎日同じ服ではしょつちゅう洗濯することもできず不潔だ。現在持っていないので今さら買うのは不経済である。他には、色々な人の服を見るのが好きだやアホがツッパル。中学校に成つてしまふ。下校の途中でパ○○屋さんや○○映画などによれない。帰りの自由がないなどの理由もあつた。

答や自由である、清潔である、センスがやしないわれるなどがありました。

悪い点としては、華美になりすぎる、女の競争心をおおる。度を越すとバカに見える。女のいやらしさが出る(一年の女子より)理由競いあつたためとあつた。

(5)学校の生活に、ふさわしくない容姿服装に該当するものがありますか?

a ある一年男子 19人 二年男子 20人
一年女子 26人 二年女子 14人
b ない一年男子 20人 二年男子 30人
一年女子 63人 二年女子 47人

この間に対し該当するものもありませんと答えた人はずいぶんいるのだが、いざ具体例を、と聞くと、はつきりした答えが生まれませんでした。

(6)学生らしい服装とは……
答えは、華美でないもの、活動的なもの、清潔感のあるもの、清潔なものや本人にあつたものなどで、大体生徒手帳に書いてある内容と同じであつた。

(7)服装に気を使っていますか?

a はい 一年男子 15人 二年男子 18人
一年女子 69人 二年女子 42人
b いいえ 一年男子 25人 二年男子 33人
一年女子 24人 二年女子 13人

どんな点に気を使うか？

大体清潔さとか自分に合うもの、学生らしいもの、派手にならないように、上下の組み合わせなどや秀才に見えるようにしている。

なぜ男子より女子の方が
服装に気を使うか

考察

1 女子の方が細かい所にまで神経を使うのを一般に惜しまない。

2 男子の方が一般に無精(中には女子以上に気を使っている者もいるが)ある。

3 ○○の方が虚栄心が強い

(男は他の所で競うので……)

4 ○○は身体、顔の不足、欠点を洋服でおぎなう、(洋服に関心を引いて他を見られないようにする。)だからみな同じ条件の学生服を嫌う(問(1)、(2)より)

感想

しかし服装に関心のない人でも身嗜みだけはちゃんとしていると思う。服はそれを着て人前に出るものなのであるから他の人に不快感を与えないように注意しなくてはならない。

自分の臭いは懐かしい、でも隣の人への

エチケット！

(8)自分が着る服は、主にだれが選びますか？

(二人まで)

して関心の高いことの表われだと思ふ。
(9)ファッションブックを読みますか

一年男子 a 自分 35人 a 83人

b 母親 25人 b 39人

c 父親 1人 c 3人

d 姉か兄 1人 d 8人

e 妹か弟 2人 e 2人

二年男子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年女子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年男子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年女子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年男子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年女子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年男子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年女子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年男子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年女子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年男子 a 41人 a 56人

b 14人 b 19人

c 1人 c 2人

d 1人 d 1人

e 1人 e 1人

二年女子 a 41人 a 56人

下さい。

また、二年の女子の方が一年の女子よりは
いといいえの差が大きいのは、年齢とともに
おしゃれになっていっているということだろ
うか。

(1)おしゃれに一ヶ月いくら使いますか。

この質問で圧倒的に多かったのが全くつか
っていないで多くても二〜三千円程度、みん
な親の腰をかじって買ってもらうのであろう。
親もたいへん。

(2)、(3)の質問に対しては非難があつたので公
表しないことにしました。でもねえ五人だけ
公表しよう。倉橋先生、松本先生、宗内先生、
臼杵先生、吉野先生の名が多くあがつていた。
どちらかは言えないが。

(4)では採用できるだけの回答がありませんで
したので中止します。

(5)一学期の間で学生服を何回洗濯しますか。

これは本文途中で公表済み。

実際このアンケートをまとめる途中で

いったい自分は何をやっているの

だろうという不可解な気分

になつて来た。

五百数十枚くばつて帰つて来たのが百五十枚
程度。いったい四百枚近くはどうなつてい
るのでしょうか？みなさまどうぞ有効にご利用



スカートのひだは24本

生徒会報告

選挙管理委員会

後期生徒会役員を選挙するため選管が活動し始めたのは9月3日頃です。そして17日に立会演説会や投票を行う予定だったのが、1人の候補者も現われず延期になりました。

本校の選挙運動は年々次第にその活発さを失って行くようですが、去年以前から選管はより多くの候補者が現われるよう考えていました。結局は強制立候補と選挙規則の改正の2つしかなく、強制立候補では多数の問題を出してしまいました。強制立候補ができなくなると、選挙規則を改正し今までにあつたポストを8つにして、そのポストについて総務などと協力し、候補者を探し回ったのですがあまり思わしくなく一時は生徒会がなくなるのではないかと思われました。総務が開いた討論会では出席者が全校の中わずかに10人位で、それも全員関係者。総務自体が目立たない存在だったとはいえ、あまりに無関心なので、

これを機に総務、選管その他の人と協力し、生徒会をどう考えているか生徒の考えを各クラス訪問し、聞いたのが最後の生徒への呼びかけでした。

9月から始めた選挙活動で1人も現われなかったのに2ヶ月たった頃は12人の候補者が現われたのに驚いたものです。こうして後期総務役員選挙は終わったのです。

文化祭執行委員会

怠慢心を発した沢田氏が「暇らなくてもいい」とおっしゃったことから一応名前だけ載せることにしました。

新聞委員会

某有名新聞の就職難関係の記事に大手企業の新規採用者の調査項目というのが載っていて、その中で『高校では…：新聞部・演劇部などの部員は思想的偏向者が多いので特に詳しく調べる』などというのがあつて、大いにオドロキ、オドロキ、チヨコの木。

しかし、我松高新聞委員会には『思想的偏向者』なんていうのは決していません。みんな

な明明、溫和ノ音楽室の片隅で、いたって穏やかに活動が進められています。記事の内容からしたって、行事報告や生徒会の話が主で、いわばこの新聞は、善良なる松高生のための学校内回覧版的存在なのです。

復活して2年目。ときどきではなく、年5回発行の定期刊行物となっています。仕事は取材・原稿書き、カット・印刷などたくさんあります。やる気十分の人にはそれを満たすことのできる仕事が確実にまわってきます。とにかく充実した高校生活が送れます。

松高に、ときどきタイムズ、ありノ

文化委員会

現在、文化委員会の活動は実をいって活発ではないんです。だからこれといって勝れるものはありませんが、しいていえば文化祭執行の手伝いと、三学期の終わりの映画会ぐらいです。

この委員会は映画会や討論会の企画など文化的な活動を積極的に行なうべきなんですけどもどうも意気あがりません。事実、委員会の時間に美術室に行ってみると、数人集まっても、「何かやってるのかな。」っていう感じなん

です。

この委員会と他の委員会との大きな違いは仕事をしないと困ってしまうというような必要性がない、その気ならとことんさばれるという点です。

つまりそれだけ自主性・自発性がなければ成りたつていけないわけです。文化委員会の役目は未知数です。生かすも殺すも松高生の心がけ次第ですね…。

図書委員会

図書委員会の仕事は、まず二週間に一度のカウンター当番。読書会開催。図書新聞発行文化祭への参加。年度末に行う蔵書点検。以上五つが、この委員会の主な仕事です。その他ごまかい雑用は以外と多いのです。

しかし、この委員会の中には、一癖も二癖もある人がいるので、楽しく委員会を行っています。先輩後輩の隔たりがほとんどなく、元図書委員の人たちもよく図書室へ来て、現委員と、仲よくしたりしています。愉快な人が多く、委員同士の仲がよくなりすぎて、カウンターに来るたびに、大きな声で、おしゃべりをしてゆくのです。これが、図書委員会

唯一(?)の欠点です。時には、遠足なども

行いかなりのおしゃべりをしてもらっていますがそれでも、話のタネはつきないよう、まったく困ったものです。

ところで、購入希望図書簿があるのを知っていますか?何か購入してほしい本があつたら、図書室に来て、記入してください。

体育委員会

ハイイ 体育委員会です。エッ!?体育委員会って何をするのかって?もちろん体育祭や球技大会などの運営ですヨ。

特に最大の行事の体育祭は、何か月も前からみんなが楽しめるように工夫したり、ない知恵をしぼって種目に趣向をこらしたりする縁の下の力もちだけど、とにかくハリキッちゃうのです。だから体育祭が成功したときの感激は他の人よりいっそう大きく、修学旅行にも劣らない高校生活の思い出になります。

委員会の出席率はバツグンで、さぼる人はほとんどいません。それじゃ、がり勉かマジメツ子の集まりだらうって?イエイエ 集まってくる人は顔も会話もマンガに出てきそうなほどおもしろく、とにかくファミリー的委員会です。

こんな委員会で、クラスやクラブとはまたちがった友達や思い出をつくってみるのもいいものですヨ。君もぞいてみてはいかが!?

保健委員会

保健委員会とは何をするのでしょうか。生徒



全般の保健衛生に関する調査統計、健康的環境の整備、健康診断及び応急処置に関する協力などです。…と生徒手帳には書かれているのですが……。

実際の活動としては、けが人を連れて行くこと、セッケンをくばることぐらいかな？。けが人を連れて行くといっても、めったになく授業中「保健委員、ついて行きなさい。」という言葉に内心ニヤニヤしながら行くのです。でも大変なこともあるんですよ、ひとつ年一回発行予定の「FIRST AND」の編集です。しかしながらこれも予定である故、どうなるでしょう。

最後に、具合の悪い時はすぐ保健委員へたとえ授業中であれ、イヤな顔ひとつせず、そうです。笑顔で幸福の場所、保健室へお連れいたします。

整美委員会

松高の生徒諸君！みんなまじめに掃除をやるとるかね？ちょっとその場で自分の周囲を見回してみてくれたまえ。あまり感心すべき状態ではないことに気づいてもらえと思う。たしかに掃除はめんどうかもしれない。しか

し、そこを根性でやりぬいてこそ、其の人間性が確立されていくのではないだろうか。我々整美委員会も全員一丸となって日夜努力を重ねておりますゆえ、諸君も協力して、松高の美化に努めていただきたい。

ところで、整美委員会の活動とは、どういうものかというところ、それはもう読んで字のごとく、校舎内外を美しく整え、他には公共物を管理することなどである。具体的には、大掃除や松高の校庭の清掃の計画と実行、また掃除用具の管理と点検、花壇の整備というようなくらいで実に忙しい。諸君もこういう我々の苦心をわかってくださるなら、これからは、ともに美しい松高づくりに励もうではないか。

生活委員会

我々生活委員は、何かという毎話話し合ふことは「外出について」と「盗難」である。今まで（我々が委員になるまで）にも何回も話し合われてきたのであるが、今だに進展せず何の効果も上がっていない。（盗難は少なくなっただけども）

だから二期後期は、もっと発展性のある

話し合いをしたいと思っている。なぜみんなが外出するか。それは、学校の中にお弁当やパンを販売してくれる機能がないからである。これではどうしても朝早く学校に来てお弁当をつくらなければならない。また、忘れられた人などは必然的に外に食べに行かざるを得ない。又いろいろな事情があつて外出届けを出せない場合もある。このようなことも、もつとついで話していききたいと思つている。

放送委員会

ポーンポーンポーン！お知らせ致します。こちらは、松原高校の放送委員会です。略して、M・B・S……

皆さんご存じでしょうか？いつもの連絡放送、朝の放送に下校の放送。そして食欲をそそる？お昼の放送。それをなんと、一手に引き受

けちゃっているのです。ご不満もあるでしょう。しかし、我々M・B・Sのメンバーは皆、ガンバっているのです。仲間同志、手に手を取り合つて努力しているのです。

毎日の仕事ですから、多少キツイこともあります。機械とビツタリ恩の合わないことと。さりとて、負けてはいられません。四角く区切られたあの放送室の中で、我々は今日も活動を続けています。

ねえ、あなた、自分でお昼の番組を構成してみたいと思わない？ともかくにも、ミキシングに、声に、自信のある人ない人、やる気を求めています。さあ、あの二重ドアをガバッとあけてみませんか？

クラス紹介

1-1A

キャン／待ってました／倉橋センセー！ひきいる我等が1-1A族／ねえん、あなた御存じ？ちょっとよつてらっしゃいよ／足の太い子細い子、ある子ない子、みんなよい子はっかり、松高きつてのいいの場／授業中のあの静けさ……あふりかぞうもビツクリ！！パオ

1-1B

ここは末松帝国。ゲイバー「はーてんしお」で。「今晚どお、森ちゃん。」「だめよ、おとみ、今晚おそ番なの。マスター森崎におこられるわ。」「この常連反町氏は恩をきらしてやってくる。」「おい、平沼は。」「だめよ、西ちゃんとかついているわ。」「いかつた彼は

1-1B。さて本題、我々1-1A族はお弁当と休み時間の座談会、そして授業中の友との交流を深める手紙のやりとりお話し合い、そのみに松高へ通っている／といつては過言。1-1Aの実態を見た諸先生方が「クラス変えをすべきだ」と言つたといううわさも過言です。倉橋先生を中心として兎に角和気あいあいムードが漂つて、ホラ空気があつちもピンク、こつちもピンクそつちはほのかに黄色・・・んっそんな馬鹿な！エレガンスな私たち・・・ジェントルは僕達……えー？ウソだあーっ／もう字数もなくなつてきたのね。こんな少ない字数ではかけないわ。最後にひとこと

フリカ像が好い。負けるなビーバツ協力 1-1Aエレガンスグループ

バーテンの山香をひつつかむと、しのび足でかけてゆく。それを追うのは草野、山崎、島ノ江、渡辺特捜隊。しつとに狂つた鳥居、土持。突然バイクの音とともにかけ足で現われたのは、暴走族の平野井。「財政会の黒幕鈴木をわたせつ。」「だめよつ権。」と高原組長の娘松村嬢が率いる松校スケバングループ。左から、木村、近藤、中村、藤井、福原、星野、山本、宮下（ガム子）。そこに乗り込んできたのは「びんくばー・ちく」のママムと、その共同経営者キャンディーズなちく、ばば、長谷川。「おたくつ、うちのこのおとくいの伊藤さんと金子さんつたでしよ。」「彼女の後ろにはずらつとバニーガールの井上太田、小川、野岳が並び、おまけに娯学館の記者大熊嬢、暴力団員山田嬢が騒ぎを聞きつけ、小林少年、昆、高橋、松田のおまわりさんも笛をふいてやってくる。もう大騒動。ここになよたけの闖姫が現われ、天使嬢は最後のラッパをふき鳴らした。決まった。荻野のシュートで1-1B逆点勝ち。以上

まん研主任クニ子でした。

エーッ、一年C組のクラス紹介するの？どうしようかな。やろうかなア、やるのやめようかなア、やっぱりやることに定!!

さて、我クラスを音楽にたどえてお話しするならば、クラシック好きな人あり、ソウル好きな人あり、フォーク好きな人あり、そしてもちろん、ゴローヤ、ヒデキヤ、ヒロミを好きな人もいます。つまり、ジュースならば、ミックス・ジュース、バラエティに富んでいるのですヨ。

秘1Eの実態、そのすべてを探る!

東京の南方、世田谷区に毎年の東大合格率〇%という華々しい実績を持った名門校都立松原高校は広大な敷地を持つてそびえ立っている。そのことはすでに周知のことであるが松原高校にもやはり秘密のヴェールに閉ざされた部分があった。中央棟三階にある一年E組、別名「悪魔の館」がそれである。他の組の生徒は恐れおのき近づこうともしない授業中静まり返ると悪魔の叫び声が聞こえてくるといふ。(あとでわかったことだがこの

鳴声は〇君が背中をくすぐると発するのだそうだ。)

それではその実態を報告することにしよう。一Eの担任は実は清潔さをほこる岩田教授なのであった。生徒達は世のうわさに反して実にまじめ、清廉潔白そのものの集まりだったのである。入学以来この組は遅刻者〇人ばかり、宿題をやつてこないものなど一人としていない。まして授業中寝たりマンガを読んだり早べんをしたりするものはいらぬ道理がない。清廉潔白の代表ともいえる田辺君は語る

「寝るなんてとんでもない。ましてはやべんだなんて不良みたいなこと一度もしたことありませんね。」また古波倉君は「授業が楽しくて。特に漢文と地理と化学は退屈しませんでした」と充実した様子で語る。またこのクラスは美男美女の多いことが特長。女子ではやはり川田さんがその代表である。彼女は少し痩せきみと言つていいほどスマートな天使のような美人である。又男子ではニヒルで男性的な猪野君がその先陣をきる。男女交際についてもまじめで男女がいつしよに下校するなどということは一E組の生徒達はまっすぐ家に帰り、数学科の宗内教授の精神「勉強しまし

よう!」のおしえのもとに明日に向つて四時間、予習にはげむのである……。(なおこの報告はうのみにしないように)

我がクラス—1F

私たちのクラスは一見まとまりがあるように思えるが一つ何かか かけている、それは、自主性という点にあると思う。たとえばH・Rの時間の内容にしても相手まかせで、自分から討論するような人は 悲しいことにほとんどいないのである。また千倉の時の合宿も話が、なんにもまとまることなく失敗に終わったと思う。

では、その原因は、と考えてみれば、まとめ役のわたしもうまくないと思いますが、個人個人が、相手まかせにするところがあるのではないのだろうか。

もしクラスがえなどでもすれば、このようなクラスは二度とできないだろう。それゆえに最期の短い期間だけでもまとまりのあるクラスにしたい。

二年A組

我2年A組は、その担任白杵先生を慕つて花の新宿、渋谷、目黒をして〇の世田谷村から集まつてきた46の分子たちの集合体です。男の分子らしいのが23、女の分子らしいのが23。もちろん、男の分子は、白杵先生の子供から犬まで。女の分子は、言うまでもなく、「立てばしゃやくやく、座ればプロレスラー?!?!」そいでは、授業中を肉眼でのぞいてみるとなんと水を打ったような静寂の世界?!?!のようですが、顕微鏡でよく見ると、「やる気十分」50%「あんたナニヤッテンノ」30%、「スヤスヤ」10%「その他」10%、そしてそこには、いつも笑いがあり、望遠鏡でよく見るとその上の方にはシラケドリが2羽、3羽飛行中!!。時として、〇〇先生の頭の上に落下!!なんてことも・・・そしてどういふわけか、4時間目には、どこからかお弁当のおかずのおいが漂うというおかしなクラスです。

2年B組

我が2年B組の特色を言います。男子22名女子24名という女性上位のクラスである

こと。男女の区別がつかない人がいること。

人間か動物か不明の人がいること。男女の仲が良いこと。試験の平均点が毎回良いのクラスであること。今秋の球技大会で女子は昨年の準優勝に引き続きついに優勝したこと。倫社の斉藤先生が大好きなクラスであること。エッチな男子がたくさんいること。生徒会長副会長が一応いるクラスであること。担任の先生の良き指導により清掃抜群であること。人の似顔絵を書くのがとても上手なクラスであること。たつみ屋の鯛焼きに飢えている人がたくさんいること。将来良いお嫁さんになれそうな人がいっぱいいること。そして何れも「おにい様」がいること。より以上に我がB組のすばらしさを知りたい方は、どうぞ二階中央の真中まで遊びに来て下さい。どうです、すばらしいクラスでしょう?

21C

第三者から見ると、我クラスは男女仲が良い、まとまつたクラスらしいです。が外見と中味は、応々にして違うものでして……。

男女の仲が良いって?。それは一時的な事件がすぎず、まとまつているといつても、何か

事があつた時の表面上の姿でしかないのです。

要するに、どこにもあるような平凡なクラスなのです。良くもなく悪くもなく……。悪くないといえ、たいした「つっぱり」がないというのも、我クラスの特徴でしょう。その代り、精神年齢の低い人が多いのです。「我、青春の真つただ中」と言わんばかりにはしゃいでいる人たちが。筆者思うに「ああ……」最後に、我クラスを一言で表現するなら「朱に交われれば白くなる」でしょうか……。強情だからなのではなく、いじけて?朱に混じれないようです。

2年D組

2年D組です。担任は知る人ぞ知る、自称やせたソクラテス新目隆先生です。

我クラスは顔ぶれも多形で、ピンは体育委員長。文化祭執行委員長・整美委員長。icからキリは遅刻回数松高ワーストナンバー1といった違いのお方(本人の名誉のためあえて氏名を公表しませんが……)まで、さまざまです。そして我クラスは痴性と狂幼にあふれた人物の集団なのです。これを担任の言葉を借りて表現すれば、『松高随一の野生的

なクラスだ。』ということになるのだそうですが……？

最後にM・S君の一言。

『2年D組を目標にがんばろう!!』↓ウツ

ゴキブリの館 二一E



教室を入ったとたん「わっ」と驚く二一E。だつてきたないのなんのつて。数学の時間など「もうたーいへん」。教室の後ろには、柔道着・ワングルのリュック・ラグビー部の汗

と泥にまみれたジャージの上下のオンパレード。一年の時は美しい女子が「ひっし」と洗ってあげていたんだけど、今はノきたないと言えば、教室の淡いクリーム色の壁はゴキブリがゴキブリホイホイと共に住みついているのです。蚊もいます。ミミズもいます。あーあ(誰だノこないたずらをしたのはノ)

今のはやはり男子アメフト・しりとり。女子はひたすらマンガといったところです。

席替えは毎月三角くじでやり、学級日記の他に先生が涙をのんで買ってきた④ノート。文化祭で「喫茶生演奏」をやってパッチリうけたし……とにかく盛り上がりの中にしらけ鳥が飛んでいる二一Eでした。バオー

二一F

我々のクラスには、松高でいちばんださい男といちばんきまつている男が共存しております。前者は今後の日本を背負って立つ男になることでありましょうし、後者は現代というより未来ファッションの先端を行く極めつけであります。その他めだつことと申せば、アパッチ族+ロンドンがとてにぎやかであるということ、名誉高きかの有名な松本先

生にかわいがられている子もおりますぞ。予備欄 XY 23名・XX 23名(カオは平均です)

金曜のPM 11:00は桂米丸!!

2Fメンタイ同盟万歳!!

筆者は匿名希望・東京都・学生

A夫(一七才)でした。



クラブ紹介

物理部(アマ無線)

o o o o o < > = 1 = 2 ?! なんて、ややこしい物理のお時間を連想しないでほしいのね。今、物理部では、アンテナ工事じゃ

なかったアマチュア無線に昼夜明けかけているの。よゝするに今、ZOOMな君にピタッ

の「ハム」なのよ。お部屋でCQ、車でCQ歩きながらCQ CQ……ノ「じゃハムの免許がなきゃだめなのか。」なんて言っている君君ノそんなことないのよね。免許がなきゃすぐに取ればいいの。カンタンよ。パカカアホでない限り。ン?君、落ちたの?ゴメン。でも年二回四月と十月に国家試験があるから、ガンバッテね。チャンスはいくらでもあるの。

ところで、活動はとっても自由でやりたい時に即活動開始ノ昼休みでもOK。興味のある人来てね。君のいない物理部なんて……ちよつと古かったかな?でも物理部で、まるで何かみたい……!!

(物理部広報課 J R 1 Y T J)

合唱部

うれしい時、悲しい時、どんな時でも歌を忘れないあなた、とにかく歌が大好きというあなた、何も迷うことはないのです。歌いましょうノでもひとりじゃやっぱりつまらない。デュエット?でも二人じゃ……。そう、もつともつとたくさんの人といっしょに歌いましよ

う。合唱部はいつでも、アット・ホームなムードでお待ちしております。

華道部

ハイ、華道部です。普段はどんなおてんばな女の子でも、毎週土曜日だけはおしとやかにお花を生けて、優雅な気分をひたつているのが、松高華道部なのです。美しいお花を手に、それに負けないくらいの美女?三十人が、必死に生け花に取り組んでいます。

生け花も芸術です。ですから、その作品には、ひとりひとりの個性があらわれて来ます。小ぢんまりと生ける人、ほとんど切らずに大胆に生けちゃう人……。同じ花材でも、こうも違うものかと、感心するほどです。

教えて下さるのは、京都古流の家元の先生で、毎週、我華道部の為に松高に来て下さいます。

そして、華道部入部の最大の利点は、卒業と同時に、家元実筆のお免状がもらえるということです。

芸術的センスを磨きたい人、女らしくなり

たい人、遠慮なく被服室にのぞきにきて下さい。

食物部

ハイ、食物部です。

クッキングクラブなのです。シュークリーム、ビザバイ、スパゲッティ、プリンアラモード、ラングドシャ、グラタンやクッキーなどなど得意なのです。何でも作っちゃいます。

それにみんなとっても仲良しで楽しいのです。

かわいいお嫁さんになりたい人、ど〜んどんいらつしやい。

やさしいおねーさまたちが待っていますよ。

書道部

書道部の年中行事として、文化祭と、お書初めの二つがあります。部員は、その日のために、毎週一回の活動と自習で、それぞれ腕をみがいでいます。しかし、いつもいつも、良い気分と、調子で書けるのではなく、ある時は、自分の思うように筆が動かず、投げ出

したくなる気持ちを、ぐっとおさえ、何十回も半紙が真黒になるまで、一字一字、心をこめて書くのです。そして、いざお消書となると心臓は、ドキドキと高鳴り、指先までが、真白な紙の前でふるえ出すのです。このような、苦しい経験をした後は、その作品のできばえより先に、ほっとするような気持ちと、一つの事を成し遂げた喜びを感じるのです。

このように、この部は、非常に地味な活動をしていきますが、精神修業の一つだとも言えるのではないのでしょうか。

みなさんも、自分の生活をふり返つてみて何だかもの足りないと思う人は、何か一つ。たとえば、書道に打ちこんでみませんか。

代表 一 A 小林雅子

生物部

日頃の活動は目立たないが、地味ながら何かやっているのがこのクラブ。昨年の文化祭での標本展示や公開解剖もなかなかの評判。内容も他高に劣らず(手前味噌かな?)。

放課後、数名の怪しげな男が、二階の呉具漂う生物室に、ゆらりと集まる。更に人員が加わると、メスやピンセット、ピーカーに虫

めがねを引っぱり出し、はたして実験でもするのか、と思いきやさにあらず、みんなで教室中を下タドタと追い掛け合ったり、相撲を取ったり、野球をしたり、挙句の果てはそのまま帰ってしまう。それでも、飼っている金魚や鳥には、ちゃんとエサをやっており(事実には真面目な女子部員がおもに世話をしている)餓死させたことはない。時偶、隣の生物準備室から個性豊かな(豊かすぎる)先生がぬっと現われ懇切丁寧に実験などの指導を下さる。そうそう、夏には伯州に近い入笠山の合宿がある。蝶や昆虫、高山植物が豊富で、採集には絶好の場所。また夜明け前、頂上から見た壮大な雲海や八ヶ岳の御来光などは形容できぬ程素晴らしい。おまけに民宿では珍味な山菜やつきたてのモチまで御馳走になった。この自然は北原白秋やアララギの歌人が多くの歌を詠んだ位、美しい。

貴方、生き物に興味のある人、顕微鏡をいじりたい人、どうぞ放課後の生物室を(活動日に)のぞきに來んさい。数人のアヤシゲな連中が君と貴女を心よく迎えるでしょう。



ブラスバンド部

あ!! これを読んでいるあなた。あなたはなんて幸運な人なんでしょう。なぜならば、あなたが今読んでるのは、ブラスバンド部だからです。今、あなたは、なぜブラスバンド部の紹介を読んでいるのでしょうか。それはあなたがブラスバンド部に関心があるからなのです。また、そうでないにしても、音楽に少しでも興味があるからなのです。だからあなたはすばらしい音楽的才能のある人物なのです。もし、あなたがブラスバンド部に入部したならば、自分のまだ知らない、すばらしい音楽性を発見することができるでしょう。

さて、関係のない事ばかり言ってきましたが、これでは紹介にならないので、クラブ内外の事について詳しく紹介したいのですが、なにしろあと三行しかないのです、そういう事は、直接月水土曜に音楽室を覗きに来てみて下さい。変な連中が練習していますから。

美術部

美術の好きなお方に入っていたければ、それで結構。部員数も、常に定員に満ちてい

ればよいのです。(モチロン、多いにこしたことはない)現在の部員は、隠居生活に入っているのんびりした三年生と、まだまだ体力と根性がありあまる二年生で成り立っております。三年生は、ひたすらコンバを愛し、草野球に燃え、二年生は紙粘土に青春を賭けています。しかし制作中は一心不乱。誰の言葉も耳に入らず、ムガの境地に達するのです。美術を愛する若者よ、根性が足りない時は、たぐましい先輩がすぐさま愛の手をさしめます。来たれ、美術部へ!

将棋部

囲碁、将棋は日本の昔からの遊びです。我棋道部では、この無形文化財ともいってよい囲碁、将棋を子孫に残す為に、日夜、活動を続けたいのです。その為には、君達の様な若い人望が必要なのです。

新一年生の皆さん、友達とさそい合わせて棋道部に入り、先輩達の手堅い指導のもとで松高の囲碁、将棋クラブを発展させようではないか。

演劇部

我クラブは、非常に楽しいクラブです。そしてウイットに富み、ユーモアあふれたクラブなのです。一般の人達は「演劇」と聞くと「なんだ、という気持ちを持つ人が多いようですが、演劇というものは非常にやりがいのある、一つの美しい芸術作品だと私達は確信しています。しかし芸術作品として高めるためには、まず良い劇作品を選択する能力を持つこと、演技の能力を養うことが非常に必要になってきます。だから私たちは、やるなら決して中途半端にやるのではなく、充実したクラブ活動をしなければならぬと思っています。

みなさん!!我クラブは非常に部員不定で悩んでいます。特に男子部員は0に近い状態なのです。これから入学してくる一年生の諸君、二年生に進級した諸君、だれでも結構、初心者大歓迎、ぜひ我クラブにはいって活動しましょう。きつときつと高校生活が楽しく、生きがいあるものになるにちがいません!!

山岳部

山岳部のイメージとして、危険でこわいクラブだと思っている人も少なくはないと思う。

しかし、本校においてはそのようなことはなく、安全性を重視した登山を行なっている。また、不思議なほど先輩・後輩意識がなく、「仲間」と言ったほうがよいほどである。

山の中では、そのような者たちが一つの頂を目ざして互いに励まし合い勇気づけられて、おのおのの苦しみを乗り越えていき、キャンブ地にあつては、ぎこちない手つきで食事を作り、たき火を囲んで語り合うのである。

ところで、「なぜ山へ登るのか」という問いに対して、答えは個人によって異なるであろうが、その中に自然の美しさ、冒いような苦しみを超えて目的を達した時の喜び・満足感、それに、野外生活の楽しさなどがあるのではないかと思う。

さて、この様にかたい文体で紹介してきましたが、本当に、家庭的雰囲気であふれているクラブなのであります。

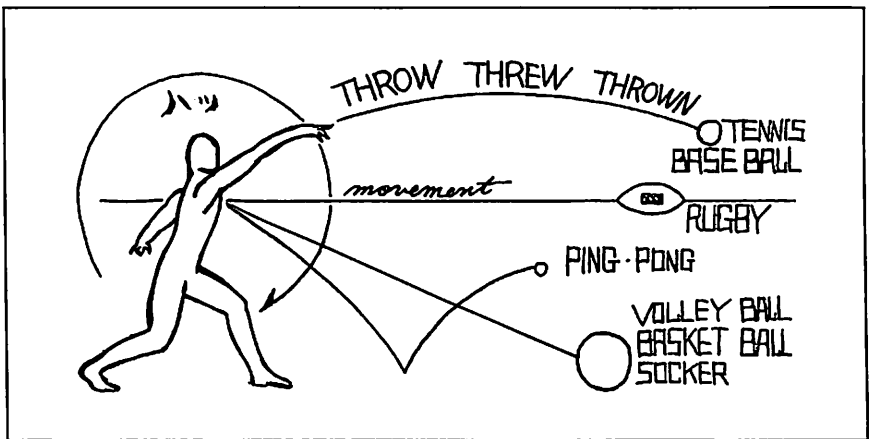
卓球部

我々卓球部は、生徒ホールというほとんど我々が独占している練習場において週休二日制で練習に励んでいます。放課後いっせいに部員が集まり練習開始ですが、ここで我々の

練習内容を申しますと、まず準備運動から素振りそして先強とマンツーマンの練習、その間に各トレーニングが行なわれます。我々は、卓球技術と体力の向上とともに強い精神力を養うことを目的としています。卓球は、個人競技ですが部員が一同となって向上を自覚している、初心者の人でもやる気さえあればすぐに上達します。それに練習の時は、とてもきびしい先強もひとたび練習が終わると気軽に話すことができます。我々のクラブは、ただ技術の向上だけでなく、同級生は勿論先輩、後輩の和を目的とした、ほんとうの倶楽部なのです。卓球の好きな人は、勿論やる気のある人、何かに打ちこんでみたい人には、〇〇なクラブです。

野球部

松原高校野球部といえば、高校軟式野球界にその名を轟かす名門なのであります。昭和四十九年八月末から、同五十年八月末現在、公式戦や練習試合を含め十八戦十二勝六敗、勝率六割七分という好成績を残し昨年度夏季大会では、強豪相手チームに奮闘し四回戦まで進出、東京都でベスト十六にはいったので



四方の入部を待っています。 七日間

バドミントン部

かと旨うと、山へ行つての食事がとつてもおいしく、かつ種類も豊富だということなのです。まあこんな違いはあまり関係なく、ほんとうは山岳部はどきどきしないということでしょう。しかしきびしくないと旨うてもそれは相対的な表現なので、山をキャンプしながら登るわけですからそれだけの覚悟をしてもらわないと困るわけです。歩華という夏山登山のために訓練の時などは少々苦しい目を見ますが、それは新入生をきたえる愛のムチなのです。これをやると相当あとの夏山が楽になります。

ここで一言ノ「みなさんワンダーフォーゲル部へ入りましょうノ山岳部のような険しい山を登るのではないのですノ山に登ると足が疲れます。けれども心が疲れるよりははずつといいノ」

今年一年生が登った山を紹介いたします。
昭和五十年九月二日現在

- 五月新入生歓迎ー明神ヶ岳ー 日帰り
- 六月歩華 ー乾徳山ー 二日間
- 八月夏山登山 ー朝日連峰ー

部になって一年。まだ「かけだし」ですけれど「ガッツ」と「声」で頑張っています。「バドミントンで西洋ハネつきじゃない。」と思っている人いませんか？ 私たちの行っていることは「西洋はねつき」とはちと違うんです。どこが違うかは、カットノ。また「あんなはねつきのどこが……。」と思われるかもしれません。そんな人は一度「西洋はねつき」ではなく「バドミントン」をやってみては……？ やつたときから「とりこ」になっちゃいますよノ

「私たちが今とても大きな悩みをかかえています。その悩みとは「放課後、練習をするとき体育館が使えない」ということなんです。外ではほとんどシャトルが打てません。「じゃあ何やってんだらう。」とお思いでしょう。外では外なりの練習を「鬼の子」？ になってやっています。でもやっぱり体育館が使いたいですネノ早く早く体育館、使えるようにならないかなノ（これとっても強い願望）

柔道部

現在部員二年二名、三年二〇名、本年度卒業生一名、計23名、そのうち有段者14ノ15名、頭間の樋口先生（六段）のもとで活動しています。樋口先生のもとで練習したら早い人で六ヶ月、遅くても一年六ヶ月で初段、つまり黒帯がとれるのです。

ところで活動内容は、50年度は、量より質に重点をおいて活動してきましたが、目標とすこしはずれてしまいました。しかし、今年から畳も50畳ぐらいに増え、これで新しい体育館ができて、りっぱな道場ができれば、練習内容もますます充実したものとなります。またそうなるためにも51年度の新入生諸君に、柔道部をもちたててほしいのです。今わが部の最大問題は50年度の一年生の部員が二人という状態です。日本の伝統的スポーツである柔道を、この松高に絶えさせないよう希望するしだいでありませぬ。

練習日毎週月・水・金、午後三時三〇分より。マネージャーもどうぞ。

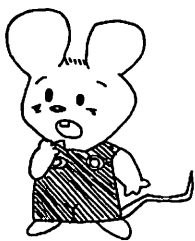
ワンダーフォーゲル部

ワンダーフォーゲル部、略してワンゲルと皆さんが旨うっております。何をやる所なのかというと山へ登ることします。と旨うても山岳部とは少し違っているのです。「同じ山に登るならば山岳部の方がいいや。」なんて事を考えられたら困るのです。

それでは、どういうふう山岳部と違うの

す。現在のチームは当時と多少のメンバーの変更がありました。主将の沢田をはじめとしてよくまとまり実力は前のチーム以上といわれ、今年の夏期大会の全国大会出場を目指し、日夜、練習に励んでいます。

練習の内容は、決して楽ではありません。しかし、その苦しさを克服してこそ運動クラブならではの充実感を味わえるのです。初心者でもいいんです。下手だっでもいいんです。野球が好きなら。そんな人が集まるのを待っています。あ、それからこんな人達の面倒をみてあげよって女の子も募集します。素敵なお兄さん、優しいお姉さんが待っています。ね、もうむくところないの？ ここまで？ じゃ、これおしまい。



だんしばれえぼおるぶ

の文章を読む人はバレーボールのおもしろさを知るために男子バレー部に入るのであります。なお、練習日は火、水、木、金、土の5日間であります。さあ、ベキンのオリンピックを目指しましょう。グ／

剣道部

松原高校の男子バレー部はジュニアの団体であります。他の低俗なクラブと比べますとその違いはひを見るよりも明らかであります。ところで我がクラブの特長を申し上げますならば、美男子の団体で、OBも親切丁寧に御指導くださり、その上マネージャーも伝統的に美人に恵まれ、誠に良いクラブであります。こんなことを書いてみると、さぞふざけたクラブと思われがちですが、実際は部員が少ない割によく練習し、よくまとまったクラブであると思われまます。(事実は練習を見ればわかります。ハイ／)

テニス部

ハイ、テニス部です。今、僕達が使っているテニスコートは何を隠そう、『自家製』なんだ。僕達の先輩の血と汗と尿の結晶によりできたんだ。さあ、みんなも僕達といっしょにその血と汗と涙がしみ込んでいるテニスコートで血と汗と涙を流そうではないか！

テニスと聞くとは何故だか女子のスポーツだとか思っている男子は敬遠するんだけど、その男子は本当のテニスを知らないに相違ない。一度やってみないかい。一度やったら決して女子のスポーツだとか言えなくなるよ。

さあ、僕達といっしょに白球を追いかけて、汗を流し、青春を有意義に使おうじゃないか、何も迷うことはない。即、テニス部へ来て、僕達といっしょにプレイしようよ。僕達はいつでも君を待っているよ。

じゃあ、君とテニスコートで会おう！！

サッカー部

サッカー部は春夏秋冬を通して元気です。またサッカー部は、ファミリームードをモッ

をだせば二段だつてとれるのです。うそだと思うなら即、入部してみなさい。最後に一言「あんた日本人だろ、剣道やってみな」

女子バレー部

キャッチフレイズいち
根性、こんじょう、ド根性、練習中は鬼だ、あとは優しいお姉さま。

キャッチフレイズに
月火木金土と、週休二日のバレー部さん

キャッチフレイズさん
鬼のコーチに優しいOB、一二三の四五六、みんな楽しんで、楽しいバレー部

キャッチフレイズよん
夏の合宿一週間、力を合わせて一週間、つらいこともあつたけど、みんな本当にがんばった。こんな素晴らしい事はない。

キャッチフレイズラスト
とにかく、やりがいのあるクラブです。泣いて笑つてころがつて、本当に楽しいクラブです。

トーとしております。ぜひぜひサッカー部へ入りましょう。現在のサッカー部はバカが多く、今年こそは、おりこうちゃんを欲しいのです。しかしバカでも歓迎いたします。高校からサッカーを始めようという人もどうぞ。二年の是洞君が指導主任となり全員を全日本クラスの選手に仕上げます。ぜひぜひ楽しみながらの技術向上をモットーとするサッカー部へ入りましょう。

また、サッカー部では切実なマネージャー不足に悩んでおります。サッカー及びサッカー部員に興味のある方は、わがサッカー部のマネージャーに。よろしく、よろしく、よろしく、よろしく。

以上述べました要領により、サッカー部員及びマネージャーを大中に募集致します。ぜひ練習に参加してみましよう。みんなサッカー部に入りましよう。おわり

燃える男のスポーツラゲビー

直接に敵と体をぶつけ合い、熱い息の中で勝利に向かって邁進する。このスポーツの長所は、攻撃と防御の区切れがなく、いつどんでん返しが起こるか分からない。したがって

攻撃の時私たちはどんなことをしても敵にボールを渡すまいとして全力でぶつかるとして、これに防衛の時には一心にボールを得ようとして、これもやはり全力でタックルする。どんな場合でも全力で取り組まなければならない。気をゆるめることは敗北へつながる。実に男っぽいスポーツだ。



木曜、日曜を除いて毎日、部員たちの自主的な練習が行なわれている。練習というものは、自主的であれば一つ一つの動きが縮こまってしまう。のびのあるプレイ、余裕のあるプレイこそがラグビーには必要なのだ。「俺は走れない」とか「危ない」などと言つて敬遠する人もいるが、そんなことはない、走れ

なくても毎日の少しずつの練習でかなり変わるし、ちゃんと正しいプレイをしていけば大ケガをすることは有りえない。ぜひ、燃える男の集団 ラグビー部へ

バスケット部紹介

水曜日を除いて、月曜から土曜まで毎日練習。火曜と土曜は体育館を使用、土曜の練習は、一時から五時まで、あとの日は、外でランニング。試合の前などは唯一の休みの水曜まで練習を行うといったなかなかのクラブ。練習内容も充実していて、部員一人一人神経をとがらせ、時間をおしんで練習にうちこんでいる。

今まで、夏の練習は、幾人かの脱落者を出させるほどのものであった。だれもが毎日一種の恐怖に近いものを抱いたに違いない。しかし、そのきびしさの内に我々は、喜びを感じている。精いっぱいやったという満足感を味わっている。

きびしさの中の喜び。これこそスポーツの本質として、全員が我クラブに誇りを持ち、若さをぶつけている。バスケット部は、そんなクラブである。

バスケット部（女子）

現役の部員の流れは絶えずして、しかもどの部員もある。よどみに浮かぶ部員は、かつ消えかつ結びてどどまりたるためしなし。

おほかた、この所に住みはじめし時はあからさまと思ひしかども、今すでに一年二年を経たり。

エーッ。松高のクラブ多しといえどもこれほど美人（しらじらしい）揃いのクラブはあるでしょうか。部員は計十三名。二名のクレーオバトラとアグネスといわれるこれまた美しいマネージャー。男狂わせのアシスタントコーチのOG2名。そして忘れてはならない気の若いペヤングコーチ。部員一人一人がどんなプレーをしたらよいかヒシと考えておる御方でございます。練習日は男子と同じで両者とも仲良くやっています。ハイ犬のクラブです。

ワンノ

アメリカンフットボールあいこう会

うちわでやっているYFOです。今はあい

特集その2

クラブ

クラブについては、現在の一年生を中心に考えてみました。

まずは、一年生に対して「なぜ、クラブに對してあなたは怠慢なのか？」のアンケートの結果から

表I

- 先輩がこわい
- クラブがきびしい
- 出てもおもしろくない
- クラブの掛け持ちから
- 出席人数が少ないから
- ただばくぜんと選んでしまった
- 人とのつき合いで出ない
- 入っていないとみっともない

こういう答えが、かえってきました。

「先輩がこわい」「クラブがきびしい」に對して二年生にアンケートをとってみました。しかし、一年生に對して、きびしいと答えた人は、一人もいませんでした。ただ、技術の

未熟な人に対して、きびしく教えこむと答えた人が数人いました。

また、「なぜきびしくないのか？」という質問に対しては

自分の性格から

部員が少ないのでやめられると困るから一年生にやる気がないから

という答えがかえってきました。

表Iにも、やる気がなさそうな答えがかなりありましたが、ここで二年生からも、やる気がないからという答えがでてきました。

二年生にしてみれば、言わば自分たちの技術を教えていくのだから、それをはやく自分のものにしよう、とか自分から上達しようとしていく後輩には、教えがいがあるのだから、なんか見えるからにやる気のなさそうな後輩には、あまり教えがいはないだろうし、そんな気持ちなら、教えてやらなくてもいいやという気持ちをもつてしまうのではないのでしょうか？二年生も、ここでもうひとふんばりをして、どうしたら自分からうまくなるうとするだろうかを考えてみたらクラブが活気づくのではないのでしょうか？

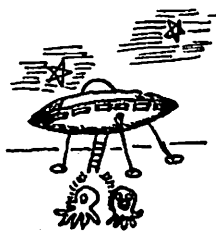
また「きびしさ」については、そのきびしさのおよぼす範囲が技術面においてか、私生

こうかいですが来年は同こう会になり、さ来年にはクラブになる予定です。うれしいですよ。

YFOはラグビーとはちがいます。ラグビー部部長前沢くんはこうかたります。「YFOってかっこいいなあ。ぼくもラグビーやめて、YFOやりたい。ズンズン」

そうだYFOこそスポーツだ。きみもわかるこのかんじ。大きいことはいいことです。左むきも右をむき、かぶった皮はぬぎすてていまこそYFOのもとへ集まれ。ちいさくてもなやむことはない。

あいことばは「ズン」



活までかが問題なのです。私生活においては、されてる方にもかなり不満があるにちがいないりません。しかし、先輩の方は、きつと後輩の上達を望んで必死なのだろうともなれば、やはり受ける側にも、責任があるのです。

さあ考えてみてください。一年生諸君！！自分が先輩になったら、どういう態度をとるだろうと。

もし、このままなら、毎年このくり返しではないでしょうか？クラブには、ある程度のきびしさは、必要なのです。

それがあるから、クラブに魅力があるので

また、これは、一般に言って各クラブの性格にもよるだろうと思います。

一つに、みんな仲よく楽しく型
実力をつけるため型

そして、どちらでもない中途半端型

と、いつても、いくら楽しく型にも、やはりクラブの統制を保つていくために、きびしさはあるのです。

我々松高のクラブは、ほとんどが、中途半端型だと思えます。文化系のクラブは、みんな仲よく楽しく型も少しあると思えますが……。

また、そうだから中途半端だから、やる気がなくなってしまう人もいることでしょう。やはり実力をつけるため型のクラブならば、みんな選手になり試合に勝ったり、資格をとるためのだから、みんな真剣にクラブをやるでしょうし……。

また、みんなで仲よく楽しく型のクラブは、そのことを遊びとまではいえないが、そのようなことに受け取っている人が大部分なのは、ないでしょうか。

だから、気分がのった時は、いつしよけんめいにやり、のらない時は、サヨウナラって、なってしまうのではないのでしょうか?! 「ただばくぜんと選んでしまった。」「クラブに入っていないとみっともない。」というのは、クラブに入った動機が原因だと思われまます。

そう思ってしまったら、そのクラブの中でおもしろさを見つけていくならばよいのですが、入ってみるとそのクラブは、「出席人数が少ないので、出てもしかたがない。」とか「一人とのつきあい出ない。」とか……。

また、技術を教えてもらう段階の一年生において「一人とのつきあいでない」とみんなから、おかれてしまつて、でてみるとみんな

はずつとむずかしいことをやっている。と、自分は、おかれてしまったと思いつけるのがいやになってまたでない、というような悪循環がくりかえされて、怠慢になってしまうのではないのでしょうか!!

ここで、あるクラブの一年生の手記をのせます。

クラブに対する考えは、一言でいうと自由。もちろん、こっちは部長として部長が出るように働きかけるが最終的に決めるのは、部員の自由だと思ふ。

しかしクラブに出た以上は、クラブの規律を守るためにもきびしくやるべきだと思ふ。

でも実態は、出る出ないは考え通り自由そのもの。

だからといって出てきたヤツはやる気十分!!というわけにもいかない。バスケットをやつたり、すもうをやつたり……。

まあ、部長もやっているんだから、せわなないけど、やはりけじめをつける時は力いっばいやり、遊ぶ時はせいっばい遊ぶという姿勢が大切

ナア!!」 そうです。一人でも味わえるので

でも、クラブには、仲間がいるのです。シートが入った時、スマッシュが決まった時、うまくいった時に、いっしょに喜ぶ仲間が…… 同じ目的に向かって進んでいく仲間が……

そしてその姿は、一番美しいのです。どんな人でも

そんなの「青春ドラマ」の一边だなんて言つてないで、そうではないのですよ!!

ほら、現実に教室では目だたないあの人が一且ユニホームを着ると別人に見えるなんてことがあるでしょ!!

三無主義とか、四無主義などいわれ、「しらの時代」などもよく言われる私たちです。でも、ほんとうにいられている人は、いますか? そんなことはないのです。もう一度考えてみてください。あの充実感を

出てもおもしろくなかつたら、自分からやろうとします。やる気がなくても、でてみるのです。そしてできるだけやってみるのです。さびしくつたつて他の人は、たえてい

だと思ふ。他のクラブから見ると松高一の怠慢クラブと見えてしまう。でも、これほど自由で、個性の強い、そして積極性があるクラブも他にはないでしょう。

一年生が借っているように、もちろんクラブにおける個人は、ある程度は自由なのです。でも、それはある程度なのです。その自由によつてクラブが乱れるようではいけないのです。

私たちは、やりたいことがたくさんある時期です。放課後の三時半から五時までの、一時間半の時間が自由だったなら……って考えたことがあるでしょうか!!

もう、一度考えてみてください。クラブとは何でしょうか? 我校でクラブ人口は全体のどれくらいなのでしょう。

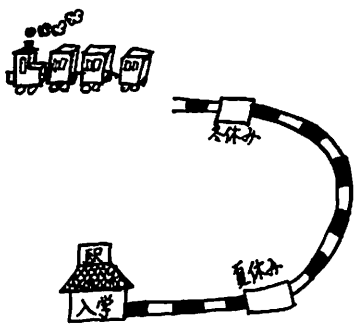
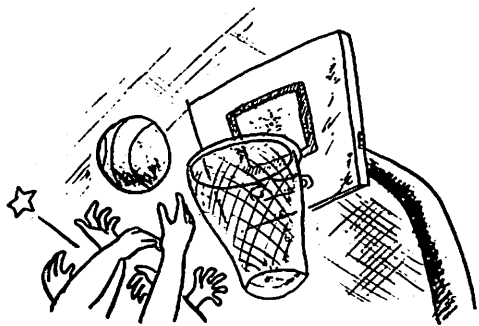
高校生活は、勉強だけではないはずですが、適当に自分の趣味もいやすべきだと思ふのです。青春は一度なのです。

だから、その使い方は、個人の意志次第なのです。

でも、あなた思ひだしてください。あの白球をおついている時、ゴールにシュー

年寄りくさい「怠慢」などという着物は、すぐぬぎすててしまいなさい。

そうして、あの充実を求めて、校庭へ、体育館へ、各教室に行つてみるのです。



Is it that in some brighter sphere
We part from friends we meet with here?
Or do we see the Future pass
Over the Present's dusky glass?

—— P.B. Shelley ——

この世にてめぐり廻る友とは
輝く空にて別れしや
今の世のくもる鏡に
後の世の映るを見るや

四月に本校へ来てから、九ヶ月たった。松原高校の第三代の井上速雄校長は、九段高校に転任され、そのとき私は校長としてお任せしたので、縁がある。旧校舎のころ一―二回訪ねて来たことがあるが、現在の新しい校舎を眺めると正に隔世の感がある。体育館の改装・グラウンドの整備などまだ残っているが、環境はよく、この学校で学ぶことのできる諸君はしあわせであると思う。

松原高校は十八学級で、二十七学級あるいは三十学級がふつうの都立高校の中では、まことに申訳ないほどの適正な規模である。先生と生徒の間の親しみとかきめの細かな心のふれ合いは大きな規模の学校ではなかなかできないものなのだ。

本校の生徒諸君は、いままでに私が受けている印象では、明るく素直であり、感じがよい。これは家庭環境をふくめて学校全体がそのような雰囲気にあると思っている。二年生の修学旅行に今年同行したが、お寺や史蹟を見学する態度もよかった。当麻寺や浄瑠璃寺での説明を熱心に聞いていて、その説明が終るや一斉に「どうもありがとうございます」というのを聞いたとき、私はすがすがしい気持ちになったことを思い出す。それは熱心に説

明してくださる方への当然のエチケットである。しかしそのようなことも守られない人たちが多いのが現代なのである。

私は松原高校の生徒は、可能性を秘めた若人諸君だと思っている。諸君はそれをしっかりと考えてほしい。松原高校の三年間の生活は、諸君の青春時代のかけがえのないものなのだということを忘れてはいけない。先生方との出会い、友人との出会いは、偶然であるように思われるかもしれないが、私はそれは奇しき因縁であると考えたい。

松原高校で結ばれた師弟の関係、友人の間に生じた友情は、これからの長い人生において、どんなにか尊いものとなることだろうと思う。波風も荒いこれからの人生においてそれらはお互いの心のよりどころとなり、励まし之源となるに違いない。

松原高校を、私たちは、世の中がどのように変わろうとも、強くたくましい身体と心を持った、健全な自主な考え方と行動力に富む、基礎的なしつかりした学力と教養をそなえた若人を育くしむ場としたい。それは全職員のがいであり、父兄の皆さまの心からの希望でもある。

概明朗で素直であることは、裏をかえせば、

粘りが無い、進んで困難に立ち向い、あくまでもやり抜く気力が足りないということにも通ずるかもしれない。諸君の大部分が希望している大学進学の問題も、可能性を秘めている諸君とすれば、努力によつてはもつとすばらしい成果を得られるものと私は見ているのだ。若い諸君は、自分の能力を見極め、発奮すれば、この松原高校の生活を、ひとりひとりもつと充実させる道はいくつでもあるはずだと思う。それを諸君は実行できると信じているのだ。清掃とか、環境の整備についても同じことがいえよう。

世界は、日本を含めて、大きく変わろうとしている。その変化がどのようなものになるかは、想像もつかない。しかし、この狭くなった世界に、諸君が将来活躍できる場は無限にあると言つてよい。日本の将来も、世界の未来も諸君にかかっていると信じていても決して過言ではない。その活躍のエネルギーを諸君ひとりひとりがこの松原高校で養つてほしいのだ。私は今年の夏スイスの青年や、ローマの学生と語つた時、彼らがまだ見ぬ日本への憧憬に眼を輝かせていたのを覚えている。数年前にマレーシアを訪ねた時、若い役人が、日本にいかん期待を寄せているかを情熱をこめ

て語つてくれたことを思い出す。

湖面にどんなに波が立とうとも、湖底は静寂である。いたずらに目先のことにとらわれ

ず、私たちは物事の本質をしつかりと見抜く力をそなえたいものだ。



H・R

学 部 部 屋
ホム ルム

ます。

チャイムが鳴って、みんなバラバラと席に着く。後ろの方には空席が目立つ。やがて、強制的に選ばれた議長が前に立つ。みんなはおかまいたしにしゃべっている。議長が叫ぶ、「何か議題はありませんか」。一瞬の沈黙、そして再び「〇〇君ってカッコいいわね」

「きのうの大三元は決まったナ」等の話で教室はいっぱいになる。五分経過。再び議長が叫ぶ、「何か議題はないんですか」。今度は沈黙さえもおとずれない。おしゃべりに夢中になって絶叫するSさん。このさわぎをもとせず夢路をたどるT君。二〇分経過。突然、ドアが開く音がして××先生登場。先生いわく、「やることがないようだから、受験のことについてちょっと話しておくかな」、それから遠々三〇分、この話は続く。前の方の奴等はポケーンとこの話を聞いているふりをする。後ろの方のSさんやT君は、さつきとまるで同じことをやっている。チャイムが鳴り、あたりにホッとした空気が流れる。長い五〇分であった。

どうです、これこそ「平穩無事」の実際の姿ではないですか。このクラスと、皆さんのクラスと、どれだけの差がありますか。

H・Rは何のためにあるの？

むろん、H・Rは生徒のためにあるもので先生のためにはありません。ね。学校も、生徒のためにあるんであって、先生が月給をもらうためにあるんじゃないですよ、ね。でも、本当にそうですか？ 今のH・Rは、本当に生徒のためのH・Rですか？ アンケート（一、二年生から無作為に五〇人づつ、計百人から取った）を参考にする、必ずしも、いや全く、生徒のためのH・Rが行なわれているとは思えないのです。

三分の二の人たちが、H・Rの理想、目的は「クラス一人一人の結びつきを強める」、「楽しい学校生活を築きあげる」、又はそれに類似した答えをしているのに対し、H・Rつまり「H・R合宿は行なうべきだ」と提案すること、その他の皆さんの不満を、クラスのみんなに聞いてもらい、そこから、「よりpowerful」を求めようとするのだと思えます。早くいつちゃえば、H・Rに対する参加意欲ですね。

よく聞きますよ、「松高にいちやあゝ。」「オレはなんで松高なんかに来ちゃったんだろう」というような愚痴を。こういう人たちは、松高をよりよくするための努力をしたうえで、こういったことを言うのでしょうか。そうとは思えませんね。不満を解決するめんどくささから、「だめだ、だめだ」という言葉で逃げている、違うでしょうか。これでは、松高の、しいてはあなた自身の進歩は望めませんね。「だめだだめだ」と言う間があるのなら、「ばく満足」と言えるような改革案をねるべきです。他人まかせではらちがあきませんよ。愚痴をこぼしても道は開かれません。あなた自身がやるんです。だめな現状に甘んじていることはありません。ために今度のH・Rの時間、何か不満があったら、それをみんなに訴えかけてみましょう。案外同じ不満を持つ人が多いかも知れませんよ。

支離滅裂というのにふさわしい文章を書い

でやっていることといえば、委員会報告、生徒会報告、先生のお話、席替え等の事務的な事がほとんどのようです。そして、今のH・Rに満足していると答えた人は、百名中、わずか七、八名なのです。さらに、「こんな状態ならL・H・Rの時間は自由時間にしろ。じゃなきゃ、早く帰らせろ」、こういう人は少なからずいるようです。

皆さん、前向きな姿勢が足りないんじゃないですか？。「誰かがやってくれるよ」と面倒臭いことから逃げ、誰もやらないのを見て「みんな無責任だなあ」と平気な顔で言う、あなたは、そうじゃないと言いつつ切れますか。前向きな姿勢とはナニモノかという、例をあげて話しましょう。

二年生は夏休みで、有志としてではなく学校の行事としての千倉のH・R合宿は行ないませんでしたが。これに対して、生徒の間かなりの不満があったようです。現に、アンケートの「H・R合宿は行なうべきだったか」という質問に、九割（これは二年生だけ）の人が「はい」と答えているのです。H・R合宿をどうして、今の二年生は行なわなかったか、詳しいことは知りませんが、先生方に深いお考えがあつたこととは思いますが、でも、



これだけの不満があるのに、なぜそいつをH・Rにぶつけないんですか、なぜ生徒みんなの大きな力にしようとしませんか、先生が必ずしも正しいとは言いつてもいいのですから、でも皆さんはきつと、先生を尊敬して、陰で呼び捨てにしたりしないでしょうから、先生方を信頼しきつているんでしょうね。話がずれてしまいました。先生の話はあまわしにして、前向きな姿勢です。前向きな姿勢とは、不満をH・Rにぶつけること、

てしまいました。読み続けて下さった方、どうもありがとうございます、気を悪くせずもう少し読んで下さい。

意見が出ない!

皆さん、H・Rで発言したことがありますか。「〇〇君と同じです」とか「考えているところです」なんていうのは、発言のうちにはいりませんよ。自分の意見をちゃんと述べることがありますか。「ある」とはつきり言える人は、おそらく少ないことでしょう。

じゃあ、「ない」という人は、自分の意見を持っていないのでしょうか。それとも、発言するのに死ぬほどの勇気でもいるのでしょうか。そうかも知れませんが、こういう意見もあります。

「オレだってねえ、オレの意見は持っているさ。発言しようかと思うこともあるけれど、『あいつ、一人だけはりきってやがる』、なんて言われそうでさ、みんなが意見を出してらんだったら、オレも出し易いんだけどね。」
皆さん、発言に慣れることが必要のようですね。慣れてしまえば、何でもこわくないでしょう。でも慣れるためには、どうしたって

一回発言してみなくてはなりませんね。「それがむずかしいんだよ」という人たちばかり居るクラスに、三分間スピーチなんてどうでしょう。

S・H・Rの時間、毎日一人ずつでもいいからやるのです。これは、発言することの恐ろしさから脱するだけでなく、クラスの一人一人をより深く知ることができて、一石二鳥だと思います。

三分間スピーチに限ったことではないでしょう。もつとみんなが発言できるようにする方法は、たくさんあるはずですよ。

まとめ

求めよ、さらば与えられん。
たたけよ、さらば開かれん。

有名な聖書の一句なのです。そうです、自分が一歩踏み出さなくては、自分がやるんだ、という気持ちでなければ、何事もなされないのです。

ずいぶん、生意気でわけのわからないことを書いてしまいました。でもこれは、皆さんの今ひとつの努力への期待で書かれたとともに、自己批判でもあるのです。とにかく、松高の前途の明るいことを、一心に信じようではありませんか。



特集その4

▲先生班アンケート結果▼

松高先生の意識調査

質問と回答

- 一、先生のモットーは何ですか。
(ここの回答は任意に抜萃しました。)
- 人格の形成、心身の向上
 - 誠実に、熱心に
 - 少々だらしなくても自由なふんいき
 - 楽しく充実した授業
- 二、先生は授業中一番困った時はどんな時でしたか。
(ここも同じく任意に抜萃)
- 間違いをしたとき
 - こちらの言ったことがよく通じなくて生徒がしらけたとき
 - 生徒諸君がやる気のない時
 - 生徒が怪我をしたとき
 - 貧血を起して倒れたとき
- 三、先生はチェックを大事にしますか。
- はい 95% ○いいえ 0%
 - どちらでもない 17%
 - 意識していない 48%
- 四、先生は授業中トイレに行きたくなった時がありますか。
- ある 45% ○ない 49%
 - 忘れた 6% ○ノーコメント 0%
- 五、先生は授業中生徒の面前でアクビをしたことがありますか。
- ある 12%
 - ない 88%
- 六、先生は授業をおえた時主にどんな気持ちですか。(任意に抜萃)
- 安心感、自己嫌悪を感じる
 - もっと生徒が勉強してくれたらなあ
 - もう鐘が鳴っちゃったか、もっと時間を大切にしなければ
 - さあ、自分の時間だ
- 七、先生は次の授業に行く時、廊下の足音がむなしと感じた事ありませんか。
- ある 20% ○わからない 5%
 - ない 75%
- 八、先生は教室のドアをあけるときの、どんな気持ちになりますか。
- すぐく楽しいものです
 - いつになっても緊張する
 - さあ、戦闘開始
 - 別に、無意識
- 九、先生は授業を終えて職員室に戻ったとき何をしますか。
- その時による 7%
 - 別に 12%
 - 生徒の心配 19%
 - やる気充分 50%
 - 無気力 12%
- 十、先生は授業を終えて職員室に戻ったとき何をしますか。
- 本を読んだり、同僚と話をする 7%
 - 鼻毛抜いて紙の上に移植する 0%
 - 次の授業を準備する 7%
 - 何かするヒマがない 24%
 - もの思いにふける 7%
- 十一、先生の最近フンガイしたことは、(これも任意に抜萃しました)
- 辞書をひいてこないで平気で授業に出

る生徒がいること

○授業を押しつけと考えて、サボルことを考え教師の目を気にしている生徒がいること

○遅刻、無断外出、清掃当番のサボリが多いこと、授業中の私語の多いこと

○遅刻して来ても、しゃあしゃあとして

いる

○給料が安すぎる

十一、先生は授業を通じてしか多くの生徒に接せない事をどう思いますか

○不満に思う、もっと機会が欲しい12%

○しかたがない 0%

○自らもっと接するようにしたい 52%

○生徒から交流を求めるべきだ 6%

○充分である 6%

○ノーコメント 6%

○その他 18%

十二、先生は生徒とのつながりは必要だと思いますか。

○思う 86% ○わからない 7%

○思わない 7% ○ノーコメント 0%

十三、先生は今の松高をどう思いますか。

○のんびりムードをどうにかなくしたい

(これも抜萃しました)

「授業をおえた時にどんな気持ちがあるか」という質問には、十人中五人が「安心する」、「ホットする」であり、あとは「次の準備」や「今の反省」であった。やはり「教師も授業中は緊張する。生徒もこれに従うべし」と考えざるを得なかった。

「先生が教室のドアを開ける時には、どんな気持ちがあるか」という質問には、「生徒の心配」、「やる気充分」が多く、「無気力」

「別に……」などというのも多少あった。

教師がやる気充分なのだから、生徒もやる気をださなければと思った。「成せば成る成さねば成らぬ何事も」である。

今度の質問はこちらの興味本意で書いたものなのだが、「授業を通じてしか多くの生徒に接せないことをどう思うか」というものだった。一番多かった答えは、「自らもっと接して行きたい」、「不満に思う。もっと機会が欲しい」だった。他には、「生徒から交流を求めるべきだ」というのがあった。この三つを合わせて松高の先生と生徒の交流を深め

ていくことが、これからの大きな課題の一つだ。そう我々は結論を出した。しかし、とても慮いたことには、いや憤慨したことには、「充分である」と答えた先生がわずかいたことだ。教師は職業のために、大げさに言えば食べるためだけに生徒と交わればいいのか。教師はその手段だけなのか。それは必要あらば生徒からだけ交流を求めればよいということだから、三無主義の流れにある悪夢としかこちら側では受けとりたくない。その先生は、生徒とのつながりが必要かという問いに対して、確か「思わない」と回答があったと思う。生徒としては、「かような教師には、習わぬべし」と言いたい。教師というものは生徒とより多く接してこそ、その価値が輝き出し、教育者としての誇りを持つものだろう。

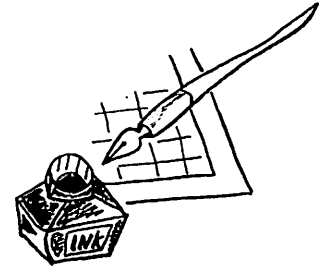
最後に、今の松高をどう思うかという質問の答えには、予想通り、生徒に対しては「やれば出来るのにやらない生徒が多い。これからの意欲、発奮を期待している」などがほとんどであり、教師の立場では「やりがいのある職場、松高生を教えている誇りがある」というものが多かった。これには頭を下げるしかない。「やる気のなき」というものが「の

すなおだが覇気がない、一種のマンネリ化があると思う

○家庭気は良いと思うが、向上心とほしい

○生きがいのある職場だ

1丁1



意見 その一

僕は、先生方にアンケートをお願いして初めて質問の出し方がむずかしいのに気がついた。こちらは何げなく思いついたことなどを書いたつもりでも、相手方は質問の意図がわ

からなかったりする。また、漠然とすざいでいて、どう答えていいかわからないような質問も、今回は多かったようだ。しかし、多少の内容の幼稚さや、教々の苦情などはすべて許していただくことにして、これから僕のアンケートの結果から気がついたことを書きたいと思う。

まず、「先生方が授業中に一番困った時は」という質問に対しての答えに、生徒の授業態度の悪さというものが目についたことに、生徒側は、大いに反省しなければならぬようだ。先生は職業ではあるが、生徒も学生という商売である。商売であるからには、きちんとしなければいけない。生徒の態度が悪ければ、先生も教える気などしなくなってしまうに違いない。教師側に落度のある場合もあるだろうが、「生徒は真剣に授業を受けるべし」と書いておきたい。

次にこれは某先生には教師をばかにしていると叱られた質問だったが「授業中にトインに行きたくなったことがあるか」という質問に対しては、十人中五人までが「ない」と答えたが、やはり教師も人間だからと思っただけの期待通り。「ある」と答えた先生は少数ながらもいた。正直に書いてくれた先生

「んびり」と置き換えられるような雰囲気のある学校であるとは生徒から見てもわかる。しかしガリ勉の受験地獄での灰色の青春がいいとも思わない。精神の一番の成長期においては、勉強というものに束縛されて、自由に自分の道をやりたいことをやりながら皆が進むことができないよりも、多少の「ノンビリムード」も必要だと思う。だからといって、微温湯にとっぷりと首までつかって甘えていてはいけない。ここで先生方の期待通りに、若い情熱を燃焼させよう。大いに発奮するのだ。そして我々は松高をよりいっそう存らし良くし、その中で先生とは親しい友達のように交わりながら、二度とは帰らない高校時代の生活を、楽しく思い出深いものとして残したいと思うのだ。そこにある喜びを見つけ出そうとしながら。「炎の如く意欲を燃やし、二度とないこの青春をいろいろな点で立派に生き抜くべし」

前の段の最後の結論は先生から発展して生徒への呼びかけの線になってしまったようだ。しかし、先生も望むことだからそれはそれで良かっただろうと自己満足している。これは先生方にアンケートを出し、先生方の考えを聞き、急いでまとめたものだから内容がおか

図異見 その二

忍耐強い読者よ。まだまだ続くぞ。

しくなってしまったかもしれない。しかしそれを読んで何かを感じてもらえればいい。「くだらん」でもいい。とに角何でもいい。最初にアンケートを行う目的としたものは、「先生という人間を探究し、生徒との連帯感を深めよう」という主旨だった。少し問題の観点がずれたようだが、今では多少の有意義だった点もあったように思う。生徒諸君、先生は最も尊敬すべき先輩であり友人だ。大いに交わり、そして大いに利用しよう。良い意味でこのくらしいの心構えがないと駄目だ。また、先生にも一目。くれぐれも生徒を職業の材料には使わないようにと。そしていろいろな相談事でも気を使わずにどんどん言っ欲しいし、悪いことをしたならかまわずどんどんしかってほしいと思う。それが血となり肉となり生徒は立派な大人に一步一步近づいていけるだろうから。

追伸 先生方には、いろいろと失礼なことを質問したのも、ここで強いて敬語を使わなかったのも、ここで深くお詫言します。また、読んでくださった人には深く感謝し、乱筆、乱文を許していただき、ここで静かに筆を置くことにします。

先生とは、教師とは如何なる人種であろうか。正面切って問われると我々は大抵、口ごもる。それでもある程度は答えられよう。しかしそれ自体すでに耳学問である。どこかの評論から拾った文章であり、うようよしている文化人の吐いたときままり文句がほとんどだ。ある者は言う。

「あいつらは、イヌさ」
「イヌさ！これはひどい。広辞苑には、
「学術、技能を教授する人」などとあるが、これでは假をつかむようだ。それは人間的な面が欠如しているからだだろう。
先生と目って追憶するのは、小学校の或いは中学の先生方であろうか。我々は現在法律上高校生であるから、高校の先生は思い浮ばない。眼前に実物がでんと存在しているから。あまっさえ、「〇〇、勉強しとるか」と吠える。吠えなくとも、心中ではそう思っている。未来、脳裏に甦る先生というのは、身近に接した担任などが主であろう。しかし良い印象と悪い印象とがある。小学生の頃は、純真

(7)であったから、アルバムでも見れば大抵の先生は思い出す。中学になると好き嫌いが出るので、どんな先生だったか忘れたいする。高校に入ると、自分の殻が出来かかると、いっそう偏食に陥る。だから〇〇先生はいい先生だったけれど、××先生は嫌いだったな。という記憶が残る。しかしそれが当然なのである。

あまりにアンバランスだ。この世に呼吸を始めて十数年、その途中に出会った先生達。こんな僅かの経験から先生を定義づけてしまっているのか。先生も人である。人の子である。君が疑うのなら区役所へでも行って出生届を調べるがいい。その人の子を簡略な幾つかの言葉の中に押し込むのは、どう見ても無理である。太古から近代まで教師と名の付く者は、九十九里浜の真砂ほどもある。その一粒一粒が強烈な、或いは貧弱な個性を持っている。人間だから。しかしそれらを強いて定義する為には、人間の自我を無視して、人間味をそぎ落す他にないのである。だから広辞苑の例のように、無味乾燥な目的だけを表わす事になる。人の感情や意志という肉をはぎ、使命、職務という事務的な骨だけにする。誰だって骸骨を見れば気味が悪かるう。

いつの時代でも、私達は暖くきびしい自己を持ちそれに忠実な、つまり徳のある先生を望むだろう。戯言にしろ「イヌ」と呼ばれるようにはなってもらいたくない。文学に現われた先生像と目えれば、漱石の坊ちゃんや山嵐、「二十四の瞳」の大石先生、芥川竜之介の毛利先生、外国ではチップス先生などがある。いずれも人間臭い先生ばかりだ。こういう先生が松高にもいたらなあと思う。けれどもこれは甘えであろう。全部の松高先生の名前と顔を暗記してから再考すべきだ。

反面、我々の理想とする先生像は、一連の「青春学園ドラマ」に出てくるあの先生達に相当影響されたのではないか。俯けないことだ。この意見には多く反問して欲しいものだ。はたして我々は先生を批評できる程、先生といふものを知っているだろうか。先生とのつながりを持ち、持とうとしているだろうか。答えは否である。或いは素直にハイである。それは自分自身に尋ねるべきだ。だいぶ気取ったことを書いた。今回のアンケートで先生方の意識の、ほん

の断片を示せたと思う。自己本位になりがちな我々も、先生の気持ちを知って少しは授業に身を入れるようになるだろうか。愛すべき松高の先生方よ、残念ながらもまたぞろ答えは、否である。断じて否！
追記 アンケートに、先生を先生とも思わぬ不遜な質問や、意図が汲みにくかったり不真面目な文章があったりして、苦情やおしかりを受け、先生班一同痛く反省しております。改めて、どうもすいません。



特集その5



ハイノお次は私たちの班。ではでは……
 三学年を除いた各クラス十名にアンケート
 を書いてもらいました。ホントは全校生徒に
 書いてもらいたかったのですが、ナンセ(マ
 ネーノマネーノ)けっして集計上の怠慢をし
 ようとしたわけではないのでアツカラズ。そ
 れにアンケートの質問ももつと多くしたいな
 あと思っただけど、そお、この不況の中、
 ついに松高にも手が伸びたか!!

きみい!!そんなこと言っていないで
 早く本題に移りたまえ ハイノ
 ではアンケートの結果とそれについて

○今の松高の雰囲気に対して
 A 満足している
 理由 一年 十六%

・楽しいから 三十八%
 ・満足しようとしているから 十二%
 ・無回答 五十%
 理由 二年 十八%
 ・楽しいから 四十四%
 ・無回答 五十六%

「楽しいから」と答えた人、一・二年共に
 『自由で明るいから(ツッパリがいないから
)』という意見が大部分を占めていました。
 また、友だち、勉強の仕方などで満足してい
 るようです。

B 不満である
 理由 一年 二十五%

・活気がない 六十七%
 ・無回答 二十五%
 ・答にならない 八%
 理由 二年
 ・活気がない 七十四%
 ・別になし 五%
 ・答にならない 十六%
 ・無回答 五%

共通している点は『生徒自身の活気のなさ』
 に絞られるようです。Aの理由の「平和だか
 ら」はBを選んだ人の多くの人にとって「独
 創的なところがないじゃあないか」というこ
 とになるのです。

B 何とも思わない
 理由 一年 四十七%
 ・良い面・悪い面を持っているから 十三%
 ・無関心だから 二十六%
 ・無回答 三十九%
 ・その他 二十二%
 二年 四十二%



理由

- ・わからない 十四%
- ・別に 十%
- ・無関心だから 十九%
- ・開き直っているから 二十四%
- ・無回答 三十三%

数値をみるとこの学校の約半数を占めていることがわかります。気付いたこととして、

「無回答」が多くなり、「開き直っているから」という人が二年生に二十四%もいることです。「無回答」「無関心」より「えっ」と思わせるような理由ですけど、自分の理想と合わなかった松高に少しも抵抗せず、おとなしく流れているのでしょうか。「その他」の中に、『代々松高に伝わってきたものだから』とありこれも開き直り型の人と同じなのではないか?!

○三無主義・四無主義を知っていますか

A 全く知らない

- 一年 十%
- 二年 四%

B 聞いたことはある

- 一年 五十一%

二年 四十八%

C よく知っている

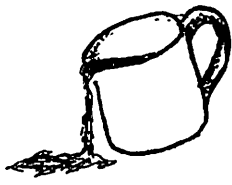
- 一年 三十七%
- 二年 四十六%

無回答

- 二年 二%
- 一年 二%

答にならない

ホントかしら、全く聞いたことがないなんて、今回はこの方たちはちょっとおみそにして——では、一応聞いたことがある人は九十四%とかなりですね。その中でよく知っている人は四十六%とやや半数。困に三無主義とは、無気力・無関心・無責任・四無主義からはその場その場のこじつけでしょうね。無自覚・無感動とか……



○何故生徒会があるのか考えたこと

A ある

- 一年 五十五%

理由

- ・幻滅したから 六%
- ・かかすことができないから 四%
- ・しかたなく 四%
- ・クラブの予算のため 六%
- ・学校生活を営むため 十九%
- ・生徒会のあり方について 四%
- ・考えたかったから 十一%
- ・そこにあるから 四%
- ・答にならない 四%
- ・大学受験に有利だから 四%
- ・無回答 三十四%
- 二年 五十八%

B 理由

- ・しかたなく 七%
- ・クラブの予算と行事の運営二十八%
- ・考えたかったから 三%
- ・幻滅したから 三%
- ・学校生活を営むため 十七%
- ・無回答 二十四%

・その他 十八%

B ない

- 一年 四十五%

理由

- ・存在が遠いから 十四%
- ・無関心だから 五十五%
- ・無回答 三十二%
- 二年

理由

- ・無関心だから 三十七%
- ・その他 三十七%
- ・無回答 二十六%

あいかわらず無回答が目につきます。松高生の半数ちょっとの人が「生徒会」について考えているのだということがわかり、そして「しかたなく」という人「そこにあるから」という人。前者の場合は、『考えたことはある』人で、つまり後にはなにも残っていない人です。後者の場合、生徒会って何をするとところなのかまだわかっていない人でしょう。また、「ある」と答えた人の中のその他で、『果たして生徒会が必要なのか』と考えた人がいます。「クラブの予算のため」生徒会はこの事のた

めにあるのでしょうか。「行事の運営のため」これも同じです。よく選挙候補者がでないとき、生徒総会中でこんな言葉を耳にします。「これが決まらなないと、クラブは停止になるし、行事もできなくなりますよ。」それなら、いっそ生徒会を潰して予算委員会を作ればいいのではないのでしょうか。予算のことを専門に行う。現に、某校は生徒会なくしても、ちゃんとクラブ活動はやっているんですから。ないのは「生徒会」つまり「生徒総会」だけ(?)ですか。

「何故生徒会があるのか」「いつどんな理由で発足したのか」と問われて答えられる人、特に後者の方は少ないでしょう。私もわかりません。ただ、簡性であるんじゃないんだと思っただけです。一年生で「そこにあるから」と答えた人たちがいます。私は「そこにある」ではなく「そこで作る」と言いたいのです。幻滅した人、その後あなたは何を感じましたか。松高の雰囲気として『体育祭だ』『文化祭だ』と騒いで文字通りお祭り気分につけて、わっせわっせやっても、体育祭・文化祭が終わってから何が残っているんでしょう。目的もなしにすごい勢いで、(目的をもつことがすべてとは言いません)

頂上(?)まで登らず、登っていく勢いよりものすごい速さで九十度下へまっさかさま。またにかよった所に着地して、それこそ活気のない学校生活へ——

「無関心だから」Bで答えた人の大部分ではないのでしょうか。「無回答」の人のうち、推測するとこの部類に入ると思っています。しかしこの中で「幻滅したから」「接点がないから」「わからないから」とあります。「接点がないから」と思う人、本当にないのでしょうか。生徒会を銀の上の存在にしてはいけません。けっして、そんな遠くでシヨシヨ役員が仕事をしているのではないはずですから「接点がない」というよりも「接点を見つけない」の方がよりよい方法だと思えます。役員も、必死に手を差し伸べようとしていられるのですから、以外に簡単なことかもしれませぬ。「幻滅したから」——もし、何かをしようとして、それを受け入れてくれなくてそれに疲れたのなら、しばらくの休養はいいでしょう。でも、この松高の現況に対して幻滅したのなら、立ち上ってもいいんじゃないでしょうか。逃げている時ではないのではないのでしょうか。「わからないから」という人、わかってと努力していますか。無関心・

無責任・無気力・無自覚の四無主義の他に、「事勿れ主義」のオンパレードといったのが多分にあるこの学校。それに流されてはならないと思うかたわら「努力しよう」と呼びかけたいのです。努力して下さい!!

「自分には関係ないから」びつたり三無主義の真只中に住みついているあなた。あなたは団体の中で行動しているのです。クラスの一人・委員会の一人・クラブの一人・そして松高の一人としての自覚・責任はきちんともつべきなのです。好きでこの学校に来たんじゃないと言っている人も、入学した限りは自分という立場を、まわりを見つめながら自分もみつめるべきなのです。受身体制にならないで下さい。私たちは人間なんですから。未来を背負う私たちなんです。私たちの前には大学受験という大きな壁があります。そして、今の社会は学力優先社会。大学も人生の中の美しいとはいえない争い。しかしそれを今、否定しようというのではありません。また否定しても何もありません。それは昔学生だった人たちが今大人になって築いている世の中だからです。だから、今度私たちの世代になり、今の社会よりよいものにするために、

今「三無主義・四無主義」そして「事勿れ主義」になつてはならないと思うのです。まさに自分を見つめようではありませんか。

かなり、私の独断(?)となつてしまいました。日本の人口一億一千万の中、それぞれの考え方があつてしょう。あつて当然です。そして、その意見を簡単に否定はできません。人それぞれだからです。ホントは「事勿れ主義」の人もこんなに批判してはならないと思いますが、あまりのこの状態に対してぶつけるところがなく、こうなつたわけです。話し合いの少ない松高。友だち同士でもちょっと話し合つてみて下さい。それが少しづつ大きく、クラス単位となつて生徒総会でこんな話し合いになるのを希望しているわけです。私の頭の中にある生徒会というのはいくつかのことです。自分たちのためによりよい生徒会を作り出す。「学校生活を営むため」というのを落としてしまいました。このようなことです。代々次が来てきた「のんびりムード」このへんで終止符を打つのも悪くないのではないのでしょうか。もし「話し合いの場」

がほしい方、いくらでもそういう会は作れます。そして現にあります。そう思うのなら、ル・クール二十四号の委員長までして下さいナ。



寄稿

「無気力」考

冬期休業中の事であった。友人と二人自転車を駆って(サイクリストはチャリなんとかなどという陰險な俗語はあえてさける)、富士山の五合目まで登ってきた。なにしろ三〇キロも下りが少しもねえ(要するに上りばかりの)道なんて初体験でどうなる事かと思ひながらペダルをふんだものだが、それでもなんとか押さずに完走してしまつた。

こんなアホみたいな事をやるかと思うと、人間てのはおもしろいもので(いや、おもしろいのはおれだけか?)、勉強などセンゼンやらず、おかげでこのところテストのたびによもや赤点!?の恐怖に心も狂わんばかりであるのよ。この気持ちわかる?わかる人は先に進もう。

かの有名な名探偵シャーロックホームズ氏は、仕事は一週間位飲まず喰わずで調査を進めるほど熱心である反面、事件がない時には一日中ソファーに寝ころがり指一本動かさず、あぐくの果てには七%のコカイン溶液

の力をかりて退屈な現実からの逃避を計つたという。ようするに彼はその偉大な頭脳を、自分の好む目的以外には決して使おうとはしなかつたのである(作り話の中の事だが)。

どうも人間というものは自分の好きなことを第一に実行したいという願望があるようで、それを行うためなら自分のもてる力を総動員しても成しとげようとする反面、自分の気に入らない事、やる気のおきない事に関してはあまり積極的に行こうとはしないという悪いくせをもっているらしい。これが「無気力」の根本にあるとしてさらに話を進めてみよう。

なぜ今の若いもんが無気力だといわれるのか。戦後三十年ぼつちで人間の性質なんてそんなに変わるものではない。では昔の(??)人どどこががうのか?そう、教育の方法ですよ。戦前、我々の大先輩達は、スペルタに近き方法で教育されたと伝えられている。用するに、やりたくない事でも先生がやれといえばやらざるをえなかつたのだ。やらなきゃならぬ。したがって一生けんめいがんばる。それがやがて習慣となり、気がついた時にはけつこう何でもいやがらずやれる。ところが民主主義の世の中になり、先生方もまだいにしつけのたがをゆるめだす。むろん親た

ちも。すると俗に自由と呼ばれる中で育つた子どもたちは、いやなことをしなくてもおこられたりなぐられたりしないから、自分の好きな事だけをやるようになる。もちろんおれは戦前の教育の方が今よりすぐれているなんて思っていない。どころかそれを思うと背すじが寒くなる。ただこの問題はこう考えるのが自然ではないかと思つたまでのことだ。

ここで忘れてはならないのが「マスコミニケーション」の異常なまでの発達ぶりであるといえる。つまりあまりにいろいろな事を簡単に知る事ができるようになつたため、また知らされてしまつたために、自分から努力して何かを知つてやろうとがんばる必要がなくなつてしまつたのだ。そしてしまひには自分は何が好きなのか、何をやりたいのか、それさえもはつきりしない人々が生まれ、先このべた人間の性質と「合体変身」して、「パロミー」ならぬ無気力人間と呼ばれるようになってしまつたのではないだろうか。

まあ、何もしねえならしねえで世の中和なんだから、こまつた事にさういう人は、心の中で何かをやりたいという欲求不満をもつていて、そのはけ口を求めて人によつてはとんでもない事をしでかす。何かやれば無気

なんだ、こりやあ

力ではないのではないかと考えるのは早計で、彼らは一人ではとても気がなく、人を集めてやっと一人以上の事が出来るというわけだ。その行動は今さら言うまでもねえだろうが、そうならもう人間も終りに近いわ。えらそうな事を書いてきましたが、けつきよく無気力の直し方なんておれにわかるはずがないのよ。ただひとつ言える事は、なにか自分が絶体やりたいと思える事を見つけて努力すれば、しだいに他の事も見えてきて、少しづつでも無気力のレットルをはがしていけるんじゃないかあねえかなってこと。

あべ静江の掛け布団を夢見る二年男子



なんだか知らない。書けつていうから鉛筆を持った。もう深夜だし(ボルノ番組も終るような時間なんだヨ!)寝たいんだけど、早く早くというもんだから、レポート用紙にミズを這わせているんだ。でも一体何書いたらいいんだろ。なんでもいいと言われちゃいるんだけど果して俺の名前だけで読者がつかめるほど俺の名前って売れてんのかな。それに、いくらなんでもいいたってあいうえおかきくけこ と並べるだけじゃ仕方ないし……なんて書いておくと、今これを読んでくれる君は「どつちにしろあまり変らないじゃんか」なんてぼちぼち言いたくなるんだと思うけど、ま、これでもこつちとしちゃ考えながら書いてるつもりなんですからねエ。大体ね、編集委員長の林さんが俺みたいなの原稿を頼むからいけないですよ。まあ他ならぬ彼女の頼みだからこうやってない知恵をふりしぼって書いてんだけど。それにしてもねエ、なんで俺みたいなのにおハチがまわってくんのかねエ。もつとまともなこと書ける人もいると思うんだけど。ねエこんなひどい文章、天下一品ですよネ、国語の先生ノ要する

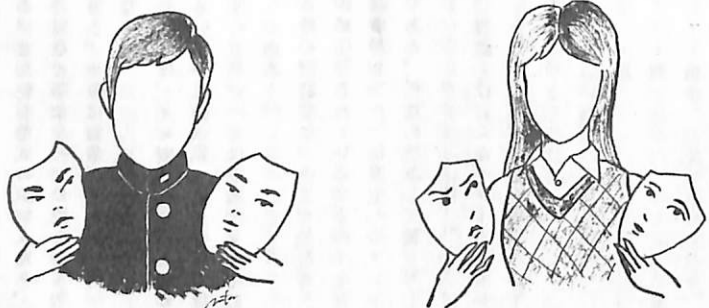
にね、誰も書こうとしないからいけないんですよ。誰も書こうとしないから、原稿がたなくなるんだし、だからこそ林さんが俺みたいなのに原稿を頼むんだし。あーあこの頃ル・クルールの低俗化があつちこつちでいわれているけど、こんな状態じゃあたりまえだよ。それでもつて今度の号は、こんな妙でけれども文章が載ることになったりするから、OBやOGが又、古きよき時代を懐かしんで嘆くことになるんですよ。林さんごめんさいね。君の時のル・クルールが史上最悪の記録になつてしまいうそう。

でもですよ、なんでこの俺サマがあやまんなくちゃなんなんだよ、原稿を頼んだのは林さん、君自身だろ。そしてまさか君はこれ以上のものがこの俺に書けるとでも思っちゃいやしなかつたらうなナ。とはいっても、やっぱり林さん一人や編集委員のみんなだけの責任にしちゃうのも酷だよナ。だって結局はなにも書かないでいながら、今この俺の文章を読んで「今年のル・クルールはクダラン」とほざいている君たちの方が悪いんだもんナア。そもそもね、自分がなにもしないのできあがつたものにケチつけるなんざ男じゃあないよ。エッ、女だつて?じゃ、女じゃな

ないよ。自分でなにも書かないといて人が書いたもん非難するなんて最低だよ。人非人だよ。

よくいうじゃあないか。「近頃の若いモンはロクに国語も知らねエ」つて。そうなんだヨナア、マ、俺の日本語だつて、ロクなものじゃねエのはたしかだけどヨ。それでもなんとか言いたいこと書けつてからいいじゃないかヨ。「表現力の不足」つてヤツかねエ。自分の言いたいこと書いてねエじゃないかヨ。オメエら。エッ?「書く」と目立つてなんやかや言われなくない」だつて?!冗談言っちゃいけねエや。ミーハーに騒がれていい気になつてる奴らに憧れてんのはどこの誰ですか。それにサ、野口五郎なんて最初はおドオドしてたけど近頃はみんなマケソーな度胸ついてきたじゃない。頑張つてなんでもいいから、言いたいこと言つてみたら?こんなひどい文章だつて立派にまかり通つてる御時世だからネ、気にしない気にしない。なんでも言つてるうちに、少しづつマトモになるヨ。よくいうじゃん、「なせばなる、なさねばならぬ……」つて。

ところがね。こんなこと書いていると「俺なにも言いたいことない」なんて言う人もいると思うんだ。簡単にいうとこの人「言いたいことがあつて言えない、言わない人」よりも重症ね。もう君、ひどい言い方させてもらうと生きている価値ないね。死んでんのと一緒。だつてサ、要するになんにも感じていないでしよ。それとも諦めちゃつてんのかナ。でも諦めちゃつてるとのはある意見で言いたくて言わないんだからまだ救いがある。まったくなんにも感じてないつてのは、機械と同じだよ。犬だつて怒れば吠えるよ。なにしたら「人間」になれるのかね。エート人間しかできないこと……と。やっぱし考えることかね。なんでもいいから自分からすすんで見て、それでちよつとでもなにか頭の中をかすめることがあつたらそいつにとびついてなんとかカタチにして、一つの考えができたあつたらそれを言つてみるよ。「どうでもいいや」ばつかりじゃどうにもなんないんだよネ。十七才になつた?どうでもいいヨ」「ストがあつた?どうでもいいヨ」「高校卒業?どうでもいいヨ」「浪人?どうでもいいヨ」そのうち地震でもあつて「エッ?エンマ様?どうでもいいヨ」これじゃあネ。もつと自分てもの



好きな顔を描き入れて下さい

を表に出しちゃっていいんじゃないかネ。自分あつての世の中だろ。自分をもちよつと大切にしたい方がいいんじゃないかな。つまりサ、君が思ったことや考えたことをさ。

それにしても、俺はもういい加減書く手がくたびれたヨ。ストロブの前で不自然な格好で一時間もいりゃ背中もオカシクなるしサ。大体ネ。みんな甘えているんだヨ。自分を大切にしないで、オヤジの腹せたスネかじつて高校行って、女の子と遊んで、バイク乗って食つてられるから。でもそれじゃあほんと犬や猫以下なんだよナア。そんなのが多いから俺みたいなのがこんな文章書かされるんだよナア。みんなもつと考えてほしいヨ。考えりゃ考えるほど旨いことだつて出てくるし、旨いこと旨つてりやうまく旨えるようになるし、だんだん人間に近づいてくるんだよナア。そして最後にやりたいことやりやあこりや正真正銘の人間だあネ。もつとも間違えるナヨ。考えた挙句にやりたいことをやるんだから。そこらへんの女の尻追っかけんのはちつと違ふよ、こりゃあ。

他校のエース

パリは灰色か

(暇つぶしだけにはなる読物)

某月某日の某新聞の記事に、こんな文章があった。
「都市には色がある、といったのは、歴史家のマンフォードである。かれはヨーロッパの中世都市をさして、『赤いシエナ、黒と白のジェノヴァ、灰色のパリ、そして金色のヴェネツィア』と指摘したものだ。中略。パリは、歴史をへた石造建築群がおもしく灰色にくすみ、そして、ヴェネツィアの各寺院の尖塔には、東方貿易でえた金や金箔が光りかがやいていた。そのなごりは、いまでもみられる。」

これは京大助教授の上田篤氏の文である。世界で歴史の古い都市は、それぞれに独特な雰囲気といったものがあるらし。視覚、色についても同様である。しかし都市に色があると目えるのは、単に視覚による印象からで、それら対象物は現実に見えて存在している。擬視できるものは容易に旨い現わせよう。人は、空は青く血は赤く、森は緑で雪は白と

・花
・だらく

等がありました。では形としては

・円形 二十八%
・無形 二十四%
・無限な形 二十四%
・ハート形 四%
・その他 (四角形・ピラミッド・三角形)

自由の色は明るい色彩の色となるようです。場所というところ

・心の中心 二十五%
・空 二十二%
・雲の上 十三%
・四次元 十%

などです。次に戦争について。

色では

・青 十八%
・白 十八%
・ピンク 十六%
・緑 十三%
・赤 十一%
・黄 七%
・黒 四%

・その他 (オレンジ・灰色・鉛色
透明 など)

これが一応、目に見えるもの(自由)と、あまりにも巨大なもの(戦争)についての若い人の持っているイメージの一例です。しかも七年も昔の調査ですから、色あせてきているかも知れません。それでも或る世代の示した「心の映像」として参考とすべき価値はあるでしょう。

このように、相手が透明で不定形で捕え所がなくになると、それに対してのイメージは良く旨うと豊富な悪く旨えば雑多なほど多くの例として返って来る。それらは一人一人の個性に非常に影響される。さて、ここで問題になるのは、或るモノに一定の概念は固定できない、それぞれの持つイメージは皆同じではない、常識です。特に若い人にあてはまる。このことにより今まで書いて来た文章は無価値なものとなる。

歴史家のマンフォードは「パリは灰色である」と旨った。上田篤氏もたまたま彼の印象に共感したに過ぎない。或る人が戦争の色は青だと叫べば、別の男はうんにゃ、ピンク色だよと吠えるであらう。レーニンが自由は赤

旨える。色百でなければ、野球のボールは丸いけど、ラグビーボールは楕円形だよとも旨える。また色彩感覚の鋭い人なら、複雑な都市の風景の印象を一つの色として表現できるだろう。それは対象が形と色を持っているからである。

しからば、その対象が見ることのできぬ物あるいは一部分は見えるが全体が巨大すぎて人間の五感だけでは把握できぬものならば、どうであらう。

本校の図書室に、今まで発行されたル・クルールが保存されている。その十七号に次の様な記事があった。松高生へのアンケートの結果である。任意に抜萃して書き写してみる。

◇自由とはどんなイメージですか。

(色、形、所在場所について)

イメージとしては

- ・ 広い高原
- ・ 鳥
- ・ 海
- ・ 戦争
- ・ 四次元
- ・ フランス国旗

めずらしいものは

に象徴されると書物に記せば、それを読んだケネディが赤は束縛を意味し自由は星の形をしていると演説をぶつたかもしれない。それは自由である。表現は自由である。と、ここまで読んだ我慢強いアナタはこう思っただろうか。「なんだ、イメージとか色彩とか共感とか旨つてるが、要するに何が旨いたのかさっぱり判らない。えい、もうこんな下手な文章書くのをやめてしまえ。」と。事実は筆者も同感である。しかしまだ約束の紙敵に足らないので無理をして書く。なんとも憎けな

い。

話を続けよう。

印象の、イメージの表現法はあくまで自由だ。思った事感じたことをその通りに表現する。これは人間に必要な基本条件の一つである。つまり一枚の絵がありそれを見た人が百人いれば、絵の印象も百通りになる。ところがマンフォードはパリという都市の印象を色に変えて、灰色と旨い現わした。そして彼の言葉に上田篤氏はじめ多くの人々が納得し肯定し、つまりは共感した訳である。ならば、ある対象に接して人々は様々なイメージを抱く。丁度、買った色彩の点在するパリの風景のように、しかしパリを一言「灰色の都市」

と表現できたと同様、それらの種々雑多なイメージからエッセンスとも言うべき、基本的な共通部分を得られまいか。得られるのである。最も単純でかつ的確な表現で印象、イメージを物語る。それは人々に共感を呼び起す（パリに関する限り、あなたの期待は裏切られるかも知れない。なんとなればドゴールがパリを白くしてしまっただけから。）

このことは、自由や戦争などについても言えるだろう。抽象的なものに対する観念は、年齢と共に変化するけれど、ある人の「人生は〇〇だ。」という言葉に現在の我々が共感しなくとも、これから未来、その真理を理解しうなずける時が来ると確信しているから。

一つの観念にとらわれるな。全体を見抜く目を養え。一つのことを言い現わすには一つの言葉で充分だ。視点を遠くに置け。目をそらしてはいけない。……

まだ紙数が余っているので、別なことを書きます。スクールカラーと目うのがあります。その学校の校風や気質を色で表わしたものです。では松高のカラーはどんな色でしょうか。

こんな時は「松高生の松高に対するイメージを色に置き変えたらどんな色」という内容のアンケートでも取るのが良策なのでしょう、か、しないのがル・クルの悪い点短所であり、また個性です。（なんとという傲慢な態度！）

筆者の友人は言いました。

「黄色だよ、黄色」

「どうして黄色なんだ？」

「エヘヘヘ、知るかよー」

これでは話になりません。ある松高生は、

「そうだな、色はわかんないけど、こう一年もたつとだんだん染まってくんのね、松高のだらけた雰囲気がある。」

他にもいろいろありますが、筆者に言わせてください。

「色は、ムラのある少し黄ばんだ淡いクリーム色であります」

クリーム色は、ほのぼのとしていて心が安まり落着くような色です。（個人の印象）しかし松高がホノボノとしているのではなく、のんびりした雰囲気（悪く目うと無気力・惰性）がこの色に近いと感じたからです。記者はこの意見を愚かしいと無視するでしょう。本当はそれで良いのです。なんとなればこのクリーム色が松高カラーとして共感を得たならば、

無題

会長 高木 要

ナゾナゾ風に言ってみると、「腸がかゆい人だれだ？」「はい、かゆい腸、会長です。」全然くだらなくて、泣きたくなります。実際、生徒会室の資料と半紙の乱雑ぶりは、はたまた地獄か極楽かというぐらいはひどくないけれども、相当なものです。今年度は不況のせいもあって、前期の総務は予算のことで苦労したらしいですが、それを引きついでなんとかやっております。まあ最初のうちは、計画なんぞを決めてはりきっていたものの、年が明けると、だんだん下り坂になってきます。幸い、まだ少々日数が残っており、この文を書いたついでにしつかりやろうと思っております。三年生になるとやはりちよつと無理があるかと思いますが、まだ二年生なのに生徒会活動が不活発なのはどうかと思います。大部分の人は、既にもうやるべきことではないと思っただけに見えますが、気が付かないことで、やるべき事は、まだ若干残っているように思われます。だから学校生活の中でちよつとでも不満があれば、たとえ無理な問

題でも、一応HRやその他の委員会等に題出して討議をすべきであります。はなはだ勝手ではあります。来年の会長に期待し、今より一層がんばってほしいと思っております。



中根君作歌



ノーンビリ松高を証明するかもしれないから。前記の松高生の言。 「俺はこの色に染まらねえよ。松高のノーンビリムードに染まらない奴だけが、いい大学に行けるんだ」 これも、この文章と同じくたむごとならね。

行事

生徒総会

最初に、この原稿を頼まれた時、○女史からは「生徒総会の議事報告」を書くようにと言われたのです。「議事報告」なんて言われても生徒総会に出席しているだけの生徒会の会員にすぎない私にとって、「そんなものをはたして書けるだろうか？」

はつきり言って困ってしまったのです。俗に言う「しやうがねえなあー」という（エゲツない言葉ですね）気持ちで、引き受けただけです。

「いざ書かむ」とは申ししましても手元に何の資料もなく、もちろん頭の中の記憶なんてあてになるものではありません。やつとのことで総務の高木君をつかまえて、「議事報告の記録を借して頂けませんか？」すると、彼は生徒会室のロッカーの中からドバツノとノートとか、わら半紙の束を取り出し、一つ一つ丁寧に探してくれました。けれど、一分待っても、三分待っても、五分待っても一向に彼の頭が持ち上がらないので



す。そこへ、書記の愛子さんが走って来て、「何を探してるの？えっ／＼そんなもの」ないわよ」「えっ／＼」

必死になって探していた彼は、初めて頭をもち上げ、「ほんとう？」と一言。こつちは「ほんとうに？」どころではないのです。「これじゃあ書けない……」と泣きべそ……。けれど、ここではたつ……と我に戻ったのです。「何でないの？」と彼女に聞くと彼女曰く「私も探したのよ。でも、ノートに書いたり、わら半紙に書いたりしていたらしくて、整理をしようにもできないのよ／＼」な

んといういい加減さ、怠慢さ……！前期の総務は何をやっていたんだ！あなた、生徒会室の雑然としたほこりだけの室内をのぞいた事がありますか？床には何か印刷されたわら半紙がちらばっていて、うす暗くって、（なぜかキラメルのにおいがプーンとしていました）ひどいものです。

この私も初めて室内をながめたのでした。この文章を書こうとこたつの中に入って冷静になって考えてみますと、やる気がないのに渋々立候補した彼・彼女らが幸か不幸か当選して活動している総務が、近年の現状です。そういう状態だから、大切な生徒総会の記録さえ満足に残っていないのでしょうか？

「いつやったかもわからないの？」と私はおろおろしながら彼女に聞いたのです。すると「『年間の行事』を書いた何とか（忘れてしまったのです）を調べればわかるんじゃないかなあー」という答え。私はホッ／＼と胸をおろしました。救われたのでした。こういう事実を知って、私は痛感しました。「これじゃあいけない。自分たちで自分たちのための生徒会にしなければ……」と。「そう言うなら、お前がやればいいじゃない

か」そうあなたは申されるでしょう。きつとしかしですね、実際には、「よし、やってやろう／＼」というキトクな人は——？そういうお方は、いらっしやいますかねえ？少しは、ほんの少数数でもいいから存在してほしいですね。

本題にもどって、生徒総会のフレイキは？と申しますと——。クラスで10人近くの人が内職の用意をして教室からいすを運び出します。夏は熱気でムシ暑く、冬はやたらと寒くガタガタと震えながら、話を聞いているのです。考えてもみて下さい、あの体育館の窓ガラスを……きちんと取まっている方を数えた方が早いような左右のガラス……。持ってきたコートと一緒にすわった三人のひざの上にか、先生の目を気にしながら周囲のざわめきをモノともせずにせつせと内職をする彼女たち……。マンガを持ってきた時は必死になつて読み、参考書とか単語帳なんぞを持ってゆくと一向にはかどらないなんていう覚えがある私です。そういう経験がありませんか？なんてそんなことがあってはいけないのですよ。あつては……。それでは、この辺で愛校心に燃えたりつばな人がこの松高に在学していることを心から祈って、この文章を終わりに

したいと思います。最後に、生徒総会が行なわれた日時を書いておきます。つけたし

- 五月二十八日（水）
内容・記録なし
- 六月十八日（水）
内容・予算の決定
- 十一月五日
選挙



体育祭

五月二十五日の日曜日、行事の一つである体育祭がピツと行なわれました。もちろんのことながら、一年生に取材を依頼して二年は楽しく応援団など……ではかわいい（？）一年生が取材したレポートを／＼

- 校内の先生班
最初に挨拶のような質問。
「今年の体育祭についてどう思いますか。」
「まだまだ若やかな先生方の答えとしては、
「なかなかカラフルでとても、いいね。」
「例年、変わりないかな。」
「三年生中心でやっているみたいね。」
「わりと応援団がまとまっていた。」
「わりと先生の先生方は、
「よくやっているね。応援なんか特にね。」
「みんな、一致して、今までよりよかつたね。」
「んー、あー、なかなか、進行が、進んでるんじゃないかな、ん。」
というようなお答えでした。更に応援団については、かなり充実している。整然として、統制がとれている。やっている人より、応援

団の方が多いような気がする。などの感想がありました。

「ここでちょっと質問の内容を変えまして、」

「先生ならばどの種目に出たいですか。」

「んー、走るのかな、うひひひー。自信はないけど。」

「パン食い競走なんていいね。わはは。」

「あんまりないね、はへへへ。」

どうぞ先生方、消極的にならずに情熱を持ってください。それにしてもこの質問の答えには必ず照れ笑いがありました。何故かしら。次に体育祭の意義、目的について。

「んー、やっぱりみんなが一つになってやるわけで、松高でもんの粋みたいなものがつくれるしね。上下関係も。」

「やっぱり思い出だよな。ま、忘れちゃうかもしれないけど。たのしいでしょ。その時は辛いかもしれないけど。」

最後に文句をいくつか。

「ひとつひとつの競技のつなぎがね、なんかスムーズに行っていない感じだね。」

「騎馬戦で真中の組がはさみ撃ちされるからだめだよ。リーグ戦にしなきゃね。」

後者は牛乳屋のおじさんでした。

— I E 松原・本村

松高生班（どーも女子らしい）

「一年生は「中学の時の体育祭と比べてどうか」という質問に対し、「にぎやかでよい。」

「陸上競技だけでなく、アメ食い・パン食い競走などがあって楽しい。」

「応援が最高。」という意見と、「ごちゃごちゃしすぎている。」

「ごみがちらかっていたり、整列の時もだらだらしていたり、少しだらしない。」という意見に分かれてしまいました。応援団については「他の人が無関心すぎて可哀そうだ。」

「応援合戦を三組続けてやるとあきてしまう。」

「人数が多すぎてまとまりがない。」等でした。一年生からの強い要望として「得点の入らない競技でも遊び半分にやらないで、もっと真剣にやってみよう。」というのがありました。

他、「予選会で落ちてしまおうと暇すぎでつまらないので予選会はなくした方がよい。」

「ムカデレースの時の器具をもっと丈夫に作っておいても良かった。」という希望もありました。

— I E 中川・藤沢・持田

松高生班（男子の部）

「我々が愛する都立松原高等学校の体育祭が去る五月二十五日に開かれました。この日、生徒会誌編集委員の小生達は、松高生の取材

来年は、がんばりたい。」

質4「競技についてはどう思いますか？」

男5「男女で全学生フォークダンスをやるのいいんですけどねえ。（にやけて）」

ある上級生たち、「先輩/今年の体育祭と去年の体育祭とをくらべてどうですか？」

男6「去年より、応援合戦がいいよ。特に女子の色がカラフルなのがいいよ。」

質5「応援合戦のどこがよかったですか。」

男7「何を言っても女子の色つばさが良かった。」

その他の人にもインタビューしてみた所、五人のうち四人までが「応援合戦がいい」と答えました。

全体的に松高体育祭は、競技よりも、その他、応援合戦のようなものに人気があったようです。

— I A 小池 — I E 班



父兄班

一年生の父兄

「応援団がとてきれいだという意見が多く中学のときとの比較した感想は活気があるなどといまいな答えがかえってきた。」

二・三年生の父兄

「昨年より活気があるという意見とないという意見にわかれた。それと生徒に若さを感じるといふ意見もあった。応援団の感想が多くはなやかだとか団結してるとか、技術が進歩したなどおほめのことばが多かったが、応援

団以外の生徒もいっしょになってやった方がいいという意見も出た。

作者不明

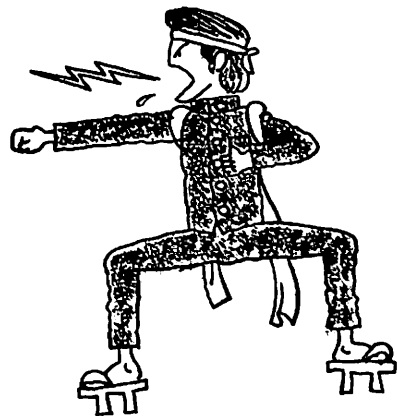
と、まあル・クル特派員による取材でした。今年度は赤組が優勝しました。応援合戦で使われた曲は、

・青組 マシンガン

・白組 ブラックアンドホワイト となにか

・赤組 花とみつばちとなにか

とにかく無事に終わった体育祭でした。



に当てられまして、いやいや出かけたわけがあります。

ある一年男子。質1「松高の体育祭は、中学の時の運動会にくらべて、どうですか？」

男1「楽しい。若いみんなが力と汗をぶつけ合う姿は何とも旨えない。」

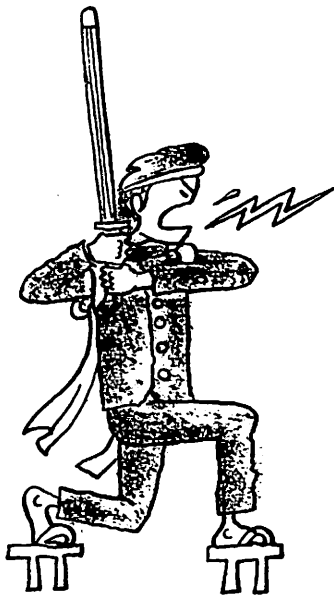
男2「応援合戦がとくにおもしろかった。」

質2「体育祭の競技の中でよいものは？」

男3「応援合戦に決まっているじゃん。特に赤組がいいね。」

質3「体育祭で残念なことがありますか？」

男4「予選で落ちたのが残念だった。だから



熱狂と感動と涙と笑い―文化祭

「十一月―無限大」というテーマのもとに九月二十七日(土)―九月二十八日(日)例年通り今年も、わが松原高校文化祭は行なわれました。二学期に入ってまもなくのかけ足でやってきた文化祭でした。

ステージ(体育館の舞台)では客席からの熱狂的な拍手と喚声の中で、いくつかの有志の演奏や悲喜劇の数々が上演されました。また校舎内では映画、スライド、種々の展示、喫茶店など……。いずれにしても評判の良かったもの、あまり人気のなかったものなどピンからキリまでありました。しかし、どれもこれも松高生の血と汗と涙でにじんだ努力の結晶であることに変わりないのです。文化祭当日までの期間、すなわち、クラス、あるいはクラブの皆が一丸となり遅くまで学校に残って協力し文化祭に結集したこの事実こそ貴重で有意義なものであったということなのではないでしょうか。

それではこれらわれわれのひたむきな努力の結晶を父兄の方々は、いったいどのよう受けとってくださったのでしょうか？ 文化

祭当日、われわれクルール委員が父兄の方々にインタビューした結果を報告までにお知らせしましょう。

Q・「今、文化祭をご覧になってきてどうでしたか。」

「生徒ひとりひとりみんな若々しくてうらやましいですね。それにみなさんしつかりしてらっしゃる。」

「高校生が大きく大人に見えて、たっかい感じをうけてとても好感が持てました。」

「都立高校の良い面が充分にでていて、どの生徒もそれぞれに一生懸命やっているのに感心しました。」

と言うように具体的な内容に関する答えはほとんど返ってくることはなく生徒を見ての感想が大部分でした。父兄の方々は、われわれ自身を対象にして文化祭にやってくるという面が多分にあるようです。ともかく、こんなにはめことばをいっていて、御世辞を使ってくださいということもいくらあると思われませんが、多少なりともわれわれの努力をわかってくださったことはインタビューのときの話しっぷりからも伝わってきました。この

ことはほんとうに喜ぶべきことであり、そこまでやってきた過程を理解していただけたと解釈しても良いのではないのでしょうか。そのほか少数ではありましたが具体的な感想としては次のようなものがありました。

「武道・華道の展示がまともがあり、おちつきがあつて良かったです。」

「舞台の照明効果がいへん良かった。」
たとえ、しがないわが校の体育館の舞台でも工夫したいで、かなりイメージ・アップすることが実現されこれもまたうれしいことでした。

ほかの学校の生徒は、どのような印象を受けたのでしょうか。他高の人達は、とかく自分の学校の文化祭と比較しがちのようで自高の文化祭のできによって感想も異なってきましたが、活気があるとかステージでの催し物が多くて良いといったような声が聞かれました。でも、私の意見を言わせてもらえばステージでの催し物が多いということは考えようによってははるまじくないのです。二日間ぎつりつまったプログラムではどうしても展示を見たりする関係、見のがしてしまふものが出てきてしまうのです。催し物の数を少なくし二度上演するとか展示を見学する日と芸能祭の日

とを分けるとかしたら良いのではとも思いましたが、催し物が多いことは松高生のやる気があるということだへん良いことであるから全部見てやろうなどという考えは賢い考えなのかもしれません。

それでは昭和五十年度の都立松原高校文化祭ハイライトとして、ざっと催し物をならべてみましょう。みなさん文化祭を思い出してみてください。そしてまた、今年松高に入学された新入生の皆さんは松高文化祭がどんなものであるか想像してみてください。

一番にぎやかであったロック&フォークコンサート、「野菊の墓」、「白雪姫」、「ジャジャ馬ならし」それに演劇部の「人形の家」など名作を劇化したもの、「二人の浮浪者」、「ひとつの青春」等のクラスのオリジナル作品、最も楽しくおもしろく大入り満員だった「水戸黄門」、すばらしい演奏を聞かせてくれたブラスバンド、ソプラノ、アルトはびびりたしあつていた合唱部の美しい合唱、松高のあらゆることが良くわかってとても興味深かった図書委員会の「全調査・松原高校」、TVよりおもしろかった？「太陽にほえろ」

(スライド)、パンチD E デート、これも人気があつた「お化け屋敷」、高く評価された

美術をはじめとする写真・書道・華道の展示、一歩中へ入ると一味ちがつた琴田風の放送部、一番気色悪かつたけれど内容のあつた、かえり、ねずみの解剖を始めとする生物部の展示、すくつた金魚の教より多くれた金魚すくいなどの縁日、オリジナル映画の数々、レストラン、喫茶店、そして、棋道部、山岳部、ワングル、物理部……

させ、できるだけ多くの人が参加することで「とおつしやられた校長先生のお言葉通りのまずまずの出来であつたのではないのでしょうか。とにかく学校全体が明るく楽しく感じられ、あつというまに過ぎてしまつた熱狂と感動と涙と笑いの二日間でした。今回の文化祭でのさらに大きな飛躍が期待されます。そんな松高文化祭のこれからが大いに楽しみです。

文化祭担当



球技大会

冬の気配が濃くなり始めた十一月初旬、球技大会が行われた。天候が心配されたが、やはり途中からくずれ、雨のため試合が中断された。そのため、数日間予定がくるったりしたが無事に日程を終えた。

我校では、放課後を利用して、何日間にもわたって球技大会が行われるのが特徴である。そして今回の種目は、男子はソフトボール、女子はバレーボールであった。

試合方法はリーグ戦で、組み合わせは、くじ引きで決められたようだ。その結果、一年生が二年生や三年生と試合をすることになり、ガツカリしていたクラスも、また、かえってファイトを燃やすクラスもあった。しかし、各クラスともふりわけられた練習時間がとても少なく、それにもかかわらず、雨で練習できなくなってしまうクラスもあった。しかし、朝早く学校へ来て練習していたクラスもあり各クラスそれぞれ無に等しい練習時間をフルに利用してがんばっていたようだ。しかし、十分といえぬ練習量にもかかわらず、各クラスとも実力以上の力を発揮していたように思

われる。

毎日、白熱した試合がくりひろげられ、期間中は、クラブ以外あまり人気がない放課後の校庭もにぎやかだった。また時には、暗くなる頃まで試合が長びき、校庭のライトをつけ、ナイターになることもあった。

下級生は、上級生にチームワークのよさで全力を尽くしてぶつかっていき、上級生を見事に破り勝利に輝くという試合も見られた。また上級生が負傷をみせ、下級生など歯が立たないという試合もあった。勝ち残っていたクラスも日一日と減っていき、試合の内容は、より充実し、面白くなっていった。

そして連日による熱戦の結果は・・・やはり男子では、三年生が圧倒的に強く、三年B組が優勝、しかし女子では、わずかな得点差で勝敗が決まってしまったところが多く、一、二、三年生の実力の差は、あまりひらいていなかったようである。その結果、優勝は二年B組、

しかし、どのチームの選手たちもみんなが一つになり、力を合わせ、全力でぶつかっていく姿は、とてもすばらしかった。

また、すばらしい試合に負けられないほどの声援が見られた。しかし自分達のクラスの選手

を応援する一方、相手チームをけなししている人もあった。また、男子の試合の時には女子

が、また女子の試合の時には男子が一生懸命になって応援しているのもよかった。そして汗だくになってがんばっている人たちと声をからして応援している人たちが一体となつてがんばっていた。そのため、クラスの雰囲気もなんとなく活気づき、クラスもまたこれまで以上にまとまっていたようだった。

また、この球技大会は、クラスの団結を、一層強いものにしたようである。

しかし、ただひとつ、先生方の校庭に出てご覧になっている姿を、あまり見ることができなかつたことが、少し残念なことである。

先生方にも、もう少し熱心になってほしいと感じた。

いろいろな悪戦苦闘も見られ、なかなか面白く、楽しい球技大会だったと思う。

一、血潮の高なり胸に秘め 二、勝利を誓う若人よ 三、栄冠高くかがしつ

松高の勢、ここにあり

松高の勢、ここにあり

松高の勢、ここにあり

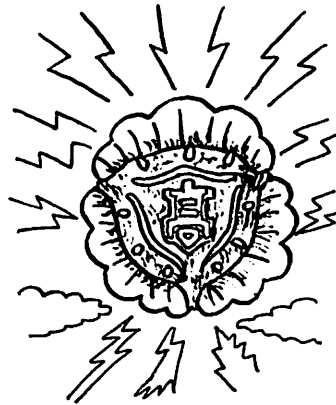
燃ゆる希望にむつび合う 日頃の練磨にむつび合う

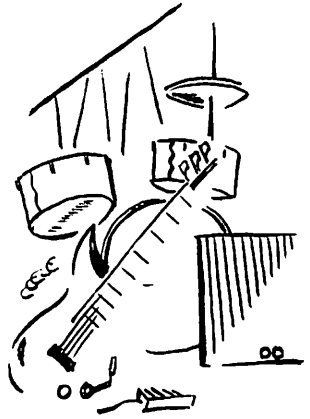
勝利の歡喜にむつび合う

松高松高われらが松高

松高松高われらが松高

松高松高われらが松高





ロックと高校生

ロックはいいね、とぼく達は言う。文化祭では多くのロックグループが演奏する。今年文化祭の土曜日、ぼく達は朝の5時から体育館で大きな音を出して練習した。そして近所の人々にたいへんな迷惑をかけてしまった。先生方はこの松高の不名譽にたいへん怒ったにちがいない。不名譽ばかりでなく、近所の人の苦情は全て、先生方や事務長さん、警備員さんのところへ行つたのだから。ぼく達は夏休み前から練習し、スタジオへ行くためにアルバイトもやった。とにかく夢中だった。先生方にとってぼく達を出場停止にするの

が一番簡単で都合のよいやり方であったにちがいない。なにしろ、ぼく達のしたことはあまりに非常識だったから。

ぼく達は自分達のあやまちの愚かさに、後悔してもしきれなかった。なにもかもがおもしろくなく、自分達が悪いのだからどうしようもなく泣きたくなるくらいだ。

文化祭の日曜日に「ルールを守ることを高校生になつたら遵守できなくてはいけない。」といつて校長先生は「演奏は力いっぱいやりなさい。」とはげましてくれた。

この時の喜びは言葉では言えない。先生方の立場から簡単にはいえなかったであろう言葉。ぼく達が高校生活の中で悔いのない文化祭での演奏という素晴らしい思い出をいよいよ卒業できるのは、校長先生を始め先生方、事務長さん、警備員さんのおかげなのだ。

一番ご迷惑をかけた顧問の内田先生をはじめおわびに行くとはんとすべての先生が、「がんばって演奏しなさい。」と力づけてくれたので、ぼく達は体育館のすみで泣いてしまった。

これから松高在校生の諸君もロックやオートバイにあこがれるだろう。君たちはそれ

かりでなく、すべてにおいて高校生活をおくる心がけとして「ルールを守る」ことを忘れてはいけない。松高の先生方はその深い理解でこれを教えて下さったのだから。

三年 池田十レイチェル

三流の短編

思想 犯

図書館からの帰り道、クリーニング屋の横の空地に茶色の犬が昼寝をしていた。犬は私の足音を聞いて半ば目を開けて、たまたま私の持つていた「共産党宣言」をちらっと見ながら横柄に言った。「つまらんものを読むね。」私はいささか癪にさわつたが、こらえてわざと皮肉っぽくこう言った。「読んでもいいのに何故つまらないとわかるかね？」犬はあくびをしてから、後足で頭をかきながら言った。「理論というものは、時として人を破壊に追いこむ。そんなもの知らなくても、ちゃんと生きていけるじゃろうが。」一寸考えてから私は言った。「しかし考えることは心を広くする。無知は悪ではないが、憐むべき事だ。知らないより知っている方がいい。」犬は座り直して言った。「それはそうだ。あん

たの言う事は合っている。が、理論を元にさらに考える人がいるかね？ただ理論を鵜呑みにするだけじゃないか？」私は言葉につまんでしまった。何か言おうと、あれこれ考えているうちに犬が言った。「他人様の考えは貰うもんじゃない、疑うもんだ。もちろん、納得したらそのまま受け入れてもいいがね。」犬は茶色の尾をブラブラさせながら、向いの路地の方へ行つてしまった。私はぼんやりとして立つたまま自身の影をふんでみた。足が動くとも影も動く。不思議な様で当たり前ふと腹が減っているのに気がついて、まだぼけっとしながら歩き始めた。車が日射しをはね返しながら、私の横をすりぬけた。今日は宵空でとても天気がいい。ふと私はさっきの茶色の犬に、殺意に似たものを感じ、電信柱に向つて石を蹴った。

休憩室

「山のあなたの空遠く・・・。」というカール・ブッセの時から思うこと

「幸福って何だろう。山の向こうにあると人がいうので、人と一緒に探しに行つたが見つからなかつた。だがやつぱり人は山の向こうに幸福が住むといっている。」



これが詩の内容だが、人間の心情を的確にとらえたすばらしいものだと思う。幸福を望まない人間は誰もいない。しかし、ただ望むだけでは幸福は近づかないし、近づけない。自分から努力して探しに行くのだ。そうすれば、いつの時代のどんな人間にだって、幸福は訪れるのだろう。

幸福やーい。早く会いたいなあ。



編集後記

風俗班

わたしは編集委員でした。だから、ガリ版
ずりました。みなさん、ありがとうございます
でした。ハイ!!

11B 知久 和子

わたしも編集委員でした。だから、インク
なくなりました。みなさん、ありがとうございます
でした。アレ!!

11B 長谷川圭子

わたしも編集委員でした。だから、インク
出しました。みなさん、ありがとうございます
でした。ミジメ!!

11B 馬場真由美

わたしも編集委員でした。だけど、なんに
もしませんでした。みなさん、ご協力ありが
とうございました。グ!!

11C 佐藤千夏子

だらだらと過ごしてきたので、楽でした。
しかし生徒会の顔としての重要さを知りま
した。

11F 福田 修一

よくル・クルルを出せるまでこぎつけたと
思う。現在は、開放感に満ちている。

11F 小林 淳一

クラブ班

やっと終わってうれしい!
明日からは、自由の身だヨ!

11F 山岸みどり

寝てもさめても、原稿の渦! あーやっと
終わってわしもうれしい。やっぱり、シャバの
空気はおいしいよ!

11F 五十嵐久美子

やっと終わった。・・・

ハヤクカエッテ、フロハイッテネヨ!!
21A 長岑ひづる

山崎 公美

デント

ホーム・ルーム班

たいへん微力ながら、編集に携わることが
出来て有意義ではあったが、「もうちょっと
何とかあったのでは」という悔いも、少な
らず残ってしまった。

21B 葛山 悟志

今後の参考にする意味で、バックナンバ
などを研究して、一昔前の汗気満ちた誌風を
作って行こうと思う。これは決して保守反動
ではなく、ただ改良のみである。

21B 高木 要

先生班

病気でお休み。だからなぐさめの言葉。
「委員長の顔は思い浮かべないで、静かに
寝ていなさい。そうしないと、原稿の山が飛
んで行く。」委員長こわいよ!

21B 大野 直人

11A 小池裕介 代筆 棗

日頃気軽に読んでいた文章も、書く立場になるともう、つらくてメンドー。

11E 本村 恭也

原稿料もくれないのに、馬鹿正直に徹夜をして書いたこと、締め切りまぎわに委員長に追いかけて最後まで逃げ切った根性、これらすべてが楽しい思い出となった。

11E 棗 隆

内容については、いろいろ御意見や御不満があると思うが、ここまでやってきたわれわれの努力を理解していただけたら幸いである。それにしてもねむいねむい……

11E 松原 功

生徒会班

打倒!!少年チャンピオン!!

打倒!!およげたいやきくん!!

倉橋先生と市川房枝さんの愛の推薦書!!

11A 北邑 智美

一月十五日、風はきつくよく晴れた日の正午ちょっと前。ふと机の上を見ると原稿の山。もしかしたら……ギャこれまだ清書していない。ぐわーん、その日は昼から闇でした。

21E 林 いづみ

その他に活躍した人々

今、生徒会誌「ル・クール」となるたくさんの原稿を目の前にして、いったいこの一年間何をしてきたのだろうかという気持ちでいっぱい……。松高生諸君、この「ル・クール」は私たち以外の多くの編集委員の血と汗と涙の結果なのです。とにかく、スミからスミまで読んでネ!

11E 中川美津子

藤沢紀美子

持田 麻美

ワッハッハッ 編集後記が唯一の仕事と楽しい委員会じゃった。

11A 佐野 之彦

女子にまかせっきりで二種類の原稿を書いただけにすぎなかったのです。でも書きた

い放題書けたのです。気分がいいです。

21C 笹島やよい

小林 真澄

ウソみたいな日があったのは十月の末。それまでは副がっていた私。十一月からウソみたいな日々。特集組んで、班分けして……冗談の試験休みと冬休みにクラブと委員会を追われ、ごまかしの新学期。試験にめげ、クラブにめげ家事にめげ思ったことはよく生きてきたナーアそして今、思ったこと 時よ!!止まって下さい

編集委員長としての 林 いづみ

協力者 神野ゆう子 高橋利恵 塚田紀美子
中村まり 中山嘉代子 永山康子 山口
美都子 山本由紀路 森昇 下崎くん
古家淳



ル・クール 第二十四号

昭和五十一年三月十日

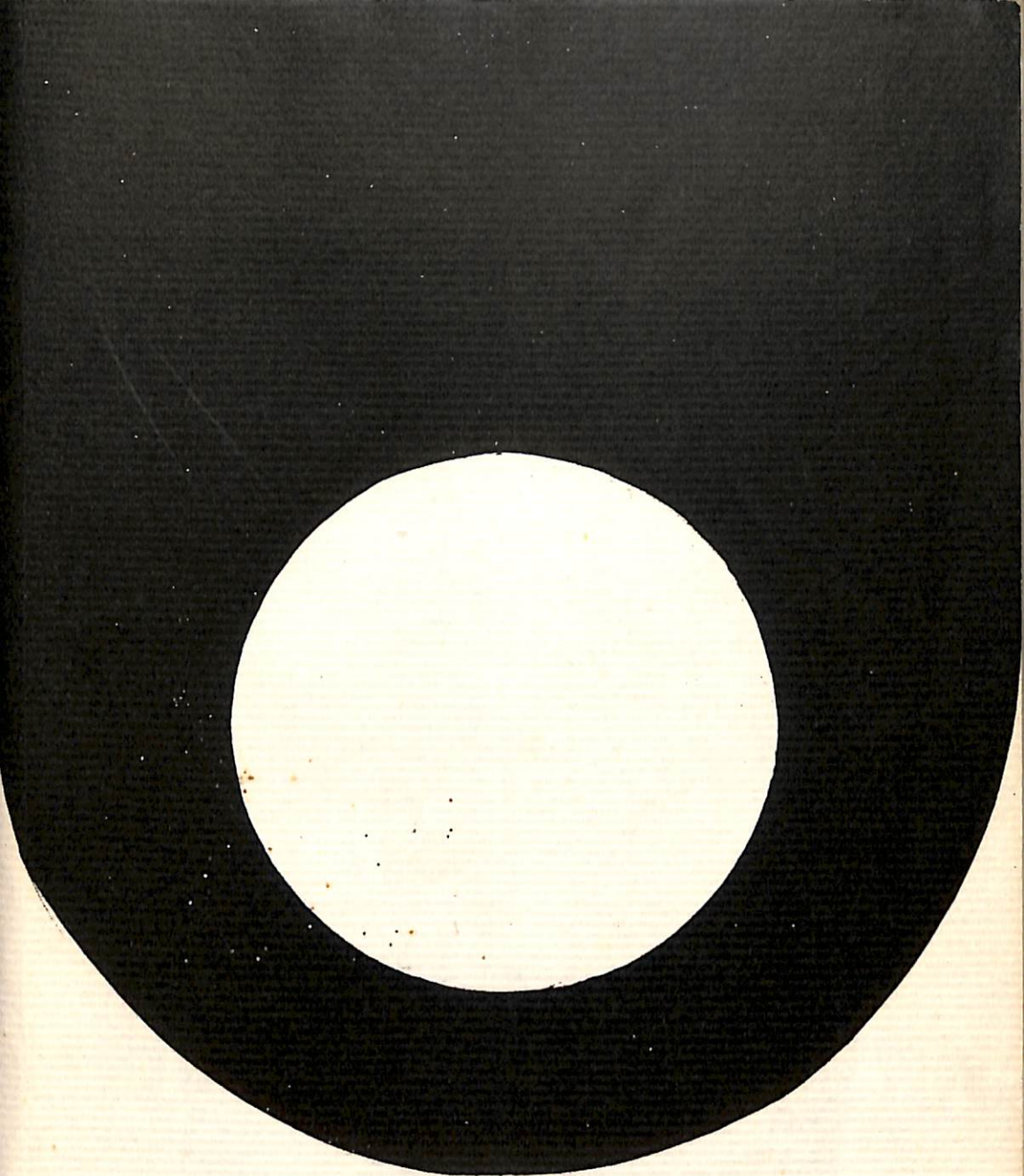
編集 松原高校生徒会誌編集委員会

発行 東京都立松原高等学校生徒会
東京都世田谷区桜上水 四一三一五

電話 (三〇三) 五三八一―三

印刷 KKトーカー印刷
電話 (二六一) 二〇五六

顧問 倉橋 淑子
責任者 林 いづみ



24